

NettyLand

<https://www.netty.ne.jp/>



私立中高一貫校の魅力がわかるフリーマガジン

かわら版



2026
新年度
スタート



写真：立正大学付属立正中学校

特集 放課後も 私の時間 私の場所

Netty Special Report 立正大学付属立正中学校

Netty Report

トキワ松学園中学校／恵泉女学園中学校／女子美術大学附属中学校／日本女子大学附属中学校／東京成徳大学中学校
八千代松陰中学校／桐光学園中学校／北鎌倉女子学園中学校／横浜女学院中学校／日本大学豊山女子中学校

クラブ特集

工学院大学附属中学校／東京都市大学附属中学校／東海大学付属相模高等学校・中等部／獨協中学校／成城中学校
大妻多摩中学校／瀧野川女子学園中学校／東京家政大学附属女子中学校／共立女子第二中学校
三輪田学園中学校／白梅学園清修中学校／玉川学園中学部／日本大学第二中学校／明治学院中学校
日本大学第三中学校／城北埼玉中学校／鎌倉学園中学校／山手学院中学校／聖セシリア女子中学校
相模女子大学中学部／国府台女子学院中学部

湘南ガールズ・スクール・フェア

鎌倉女学院／北鎌倉女子学園／湘南白百合学園／聖セシリア女子／清泉女学院／聖和学院／聖園女学院／藤嶺学園藤沢



■ Facebookもチェック
<https://fb.me/NettyLand.ai2010>
■ X(旧Twitter)もチェック
@NettyLand_ai



校長大場一人先生

立正大学付属立正中学校

[学校HP] <https://www.rissho-hs.ac.jp/>

〒143-8557 東京都大田区西馬込1-5-1 Tel.03-6303-7683

最寄駅／都営浅草線「西馬込駅」徒歩5分。JR・東池袋上線・都営浅草線「五反田駅」、JR「川崎駅」からバス「立正大学付属立正中高前」徒歩2分ほか。
スクールバス：JRなど「大崎駅」から20分。

西馬込の地で、得意を伸ばし、自信をもって挑戦できる生徒を育てる

120年以上の歴史がある伝統校。「行学二道」の精神のもと、知識や経験（学）を、行動で示すこと（行）のできる人間の育成を掲げています。一人ひとりの可能性を引き出し、これからの時代に求められる人間力を育む取り組みについて聞きました。



授業時の発表など、「R-プログラム」で養った力を発揮する機会が多い。

学びの土台、R-プログラム

生徒の得意を伸ばす土台となるのが、本校独自のプログラムである「R-プログラム」です。本校が現在の西馬込の地に移転すると同時にスタートした取り組みで、2026年度で14年目を迎えます。3つの「R」の力（Research・Read・Report）を養うことを目的としています。朝のホームルー



クラブ活動を通じて得意なことを伸ばし、活き活きと輝いている生徒も多数いる

得意なことを伸ばして、自信をもってチャレンジできる生徒を育てたい

私は学校説明会で毎回お話しするのは「得意を伸ばして、チャレンジ

ムなどでコラム記事を読んで要約し、自分の意見を発表するという「読む・書く・伝える」活動です。中学1年生から毎朝繰り返し行うため、この「R-プログラム」を通して生徒全員が思考力や表現力を自然と積み上げることができていると感じています。校内の弁論大会や仏教主義学校合同の弁論大会に出場する生徒たちは、本堂に堂々と力を発揮してくれていますし、学校見学にお越しの方々から「生徒さんの発表の様子がしっかりされていますね」とお褒めの言葉をいただくことも多いです。近年では大学の総合型選抜入試の対策にもつながっており、難関大学に合格した卒業生たちも「R-プログラム」のおかげで合格できた」と言ってくれています。

中学3年生の秋ごろに、生徒たちを校長室に招いて面談をするのですが、学校生活の様子や満足度を聞くと、みな口々に「学校が楽しい」と話してくれます。生徒たちにとって、それだけ学校が安心して過ごせる、学べる場所であるということでしょう。

生徒たちは社会に出ると様々な人と出会います。多くの方々と協働し、社会に貢献できる人材に育ってほしいと思っています。そのため、人の大切さや仲間を思いやる心、人間力を育みたいと思っています。教職員一丸となって、子どもたちの成長を見守っていきます。

INFORMATION

- 第1回学校説明会
6月6日(土) 14:00~
- イブニング説明会
6月26日(金) 19:00~
- オープンスクール
授業体験+相談会
7月11日(土) 9:30~

以降の説明会は学校HPをご覧ください

Feature. 01

15 放課後も my time 私の時間 my own place 私の場所

- 16 工学院大学附属中学校
- 18 東京都市大学附属中学校
- 20 東海大学附属相模高等学校・中等部
- 21 獨協中学校
- 22 成城中学校
- 23 大妻多摩中学校
- 24 瀧野川女子学園中学校
- 25 東京家政大学附属女子中学校
- 26 共立女子第二中学校
- 27 三輪田学園中学校
- 28 白梅学園清修中学校
- 29 玉川学園中学部
- 30 日本大学第二中学校
- 31 明治学院中学校
- 32 日本大学第三中学校
- 33 城北埼玉中学校
- 34 鎌倉学園中学校
- 35 山手学院中学校
- 36 聖セシリア女子中学校
- 37 相模女子大学中学部
- 38 国府台女子学院中学部

Netty Special Report

- 2 48 立正大学附属立正中学校

Netty Report

- 6 トキワ松学園中学校
- 7 恵泉女学園中学校
- 8 女子美術大学附属中学校
- 9 日本女子大学附属中学校
- 10 東京成徳大学中学校
- 11 八千代松陰中学校
- 12 桐光学園中学校
- 13 北鎌倉女子学園中学校
- 13 横浜女学院中学校
- 14 日本大学豊山女子中学校

Report

40 湘南ガールズ・スクール・フェア

鎌倉女学院／北鎌倉女子学園／湘南白百合学園／聖セシリア女子／清泉女学院
聖和学院／聖園女学院／藤嶺学園藤沢

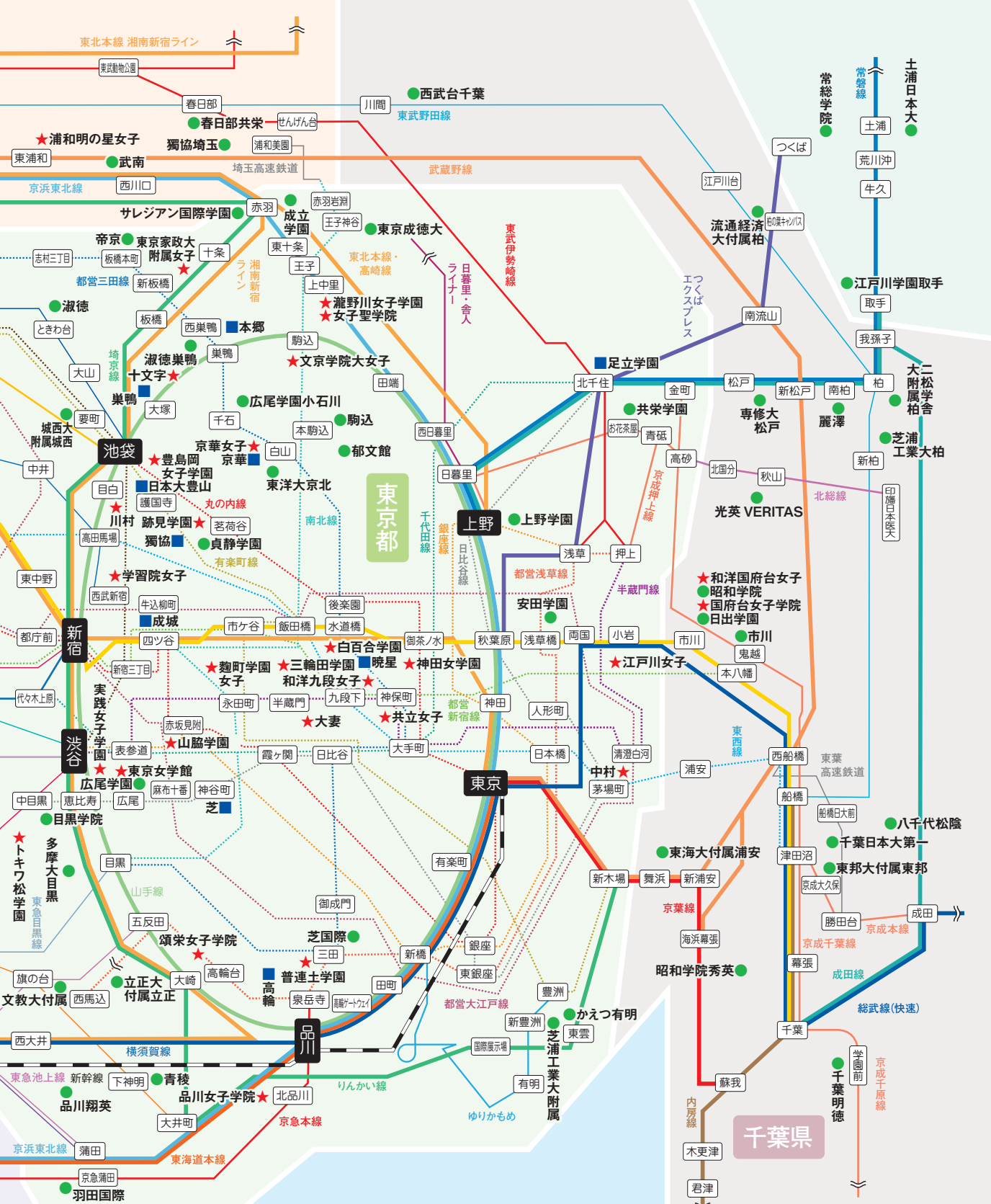
Regulars

4 Netty Map



【表紙の写真】立正大学附属立正中学校

「行学二道」の精神のもと、日々の学び（学）を、行動で示すこと（行）のできる人間を育てることを教育目標に掲げています。2013年に移転した西馬込のキャンパスは、学習に集中できる環境、思いっきり体を動かすことができるスペース、心地よくなるのびのびとリラックスできる空間を備えています。運動系20、文化系10、同好会4の多彩なクラブ活動も盛んで、文武両道の中で生活基盤を確立し、社会に出ても困難にくじけないバイタリティーを持った生徒の育成を目指しています。



- 静岡聖光学院(静岡県静岡市)
- 東福岡自彊館(福岡県福岡市)
- ★不二聖心女子学院(静岡県裾野市)
- ★福岡雙葉(福岡県福岡市)
- 加藤学園暁秀(静岡県沼津市)
- 沖縄尚学(沖縄県那覇市)
- 日本大三島(静岡県三島市)
- 海陽(愛知県蒲郡市)
- 愛光(愛媛県松山市)
- 東洋大附属姫路(兵庫県姫路市)
- 早稲田佐賀(佐賀県唐津市)

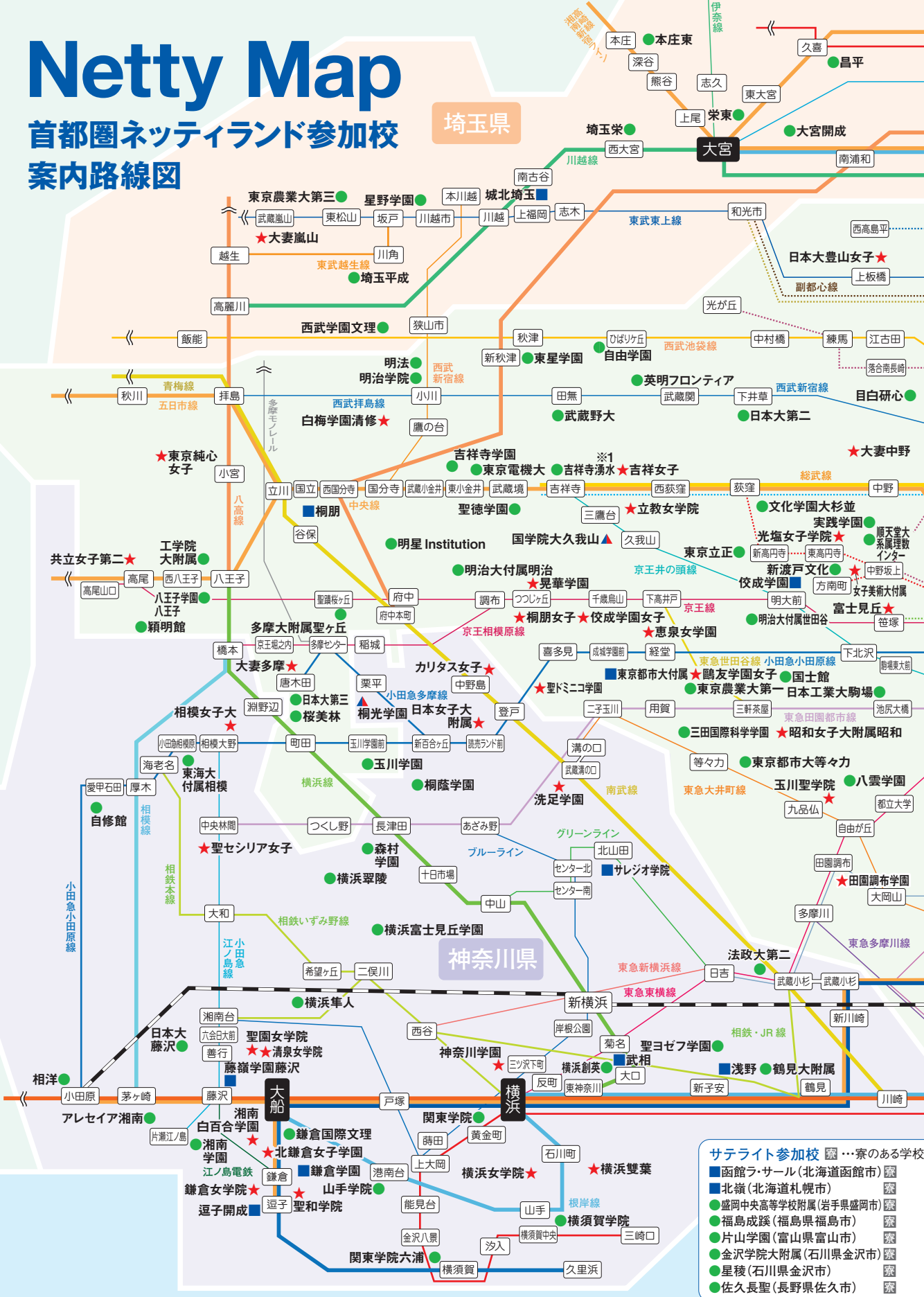


凡例：■男子校 ★女子校
 ●共学校 ▲男女別学校

学校名は一部省略して紹介しています。
 ※1 ●吉祥寺湧水 2027年4月より「藤村女子」より校名変更、共学化

Netty Map

首都圏ネッティランド参加校 案内路線図



- サテライト参加校 〇…寮のある学校
- 函館ラ・サール (北海道函館市) 〇
 - 北嶺 (北海道札幌市) 〇
 - 盛岡中央高等学校附属 (岩手県盛岡市) 〇
 - 福島成蹊 (福島県福島市) 〇
 - 片山学園 (富山県富山市) 〇
 - 金沢学院大附属 (石川県金沢市) 〇
 - 星稜 (石川県金沢市) 〇
 - 佐久長聖 (長野県佐久市) 〇



企業探究と個人探究が育む個性豊かな「探究女子」

★女子校 トキワ松学園中学校

【学校HP】 <https://tokiwamatsu.ac.jp/>

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷4-17-16 Tel.03-3713-8161

最寄駅／東急東横線「都立大学駅」徒歩8分。東急東横線「学芸大学駅」徒歩12分。
JRなど「目黒駅」からバス「碑文谷警察署」徒歩1分。JR「大森駅」・京王線「新代田駅」からバス「平町」「日丘橋」徒歩3分。



探究授業の様子

「探究女子」を育てる独自の6カ年探究カリキュラム

「探究女子」の育成を教育理念に掲げるトキワ松学園中学校。その育成のために「思考力教育」「国際力教育」「美的教育」を3つの柱としており、今回はその中から独自の6カ年探究カリキュラムを紹介いたします。

中学では、1年次の独自探究業「思考と表現」で養った情報収集の基礎やメディアリテラシーをもとに、2年次の「商品開発授業」「アプリ開発授業」、3年次の「AI活用授業」、「データサイエンス入門」に取り組みます。その後、高校では、1年次に「企業探究」で企業からのミッションにグループで挑戦し、企画を提案。2年次にはこれまでの学びを生かし、自分のテーマを設定して「個人探究」に取り組みます。3年次にはこれまでの探究活動を、各々の進路選択

につなげていきます。

これらの取り組みでは発表の機会も非常に多く、プレゼンテーション力も自然と磨かれています。

企業からの課題に向き合う「企業探究」

今回はその中から高校1年次に行う「企業探究」に実際に取り組んだ生徒にお話を伺いました。「企業探究」は、企業から出されるミッションに挑み、成果を発表する「クエストカップ」に参加する形で行われます。

今回お話を伺ったのは、いちご株式会社とのミッションに挑んだチーム「いちご大福」の皆さん。与えられたテーマは、「豊かさが伝播する新プロジェクトの提案」。生徒たちはまず、「豊かさとは何か」を考えるとところからスタートしました。話し合いの中で着目したのは、「嫌なことを減らすことも豊かさにつながるのではないか」という発想でした。そこで浮かび上がったのが、「雨の日が憂うつだと感じる人は多い」という視点です。雨の日を楽しくできれば、人の心は豊かになるのではないかと、この発想から生まれたのが、雨の日を楽しむ施設「アメト



豊富な発表機会で場慣れしていく生徒

ピア」という提案でした。

この企画は、施設内に雨水を使って床や壁に絵を描ける空間を設けたり、貯水量で色が変わる長靴型の貯水タンクを設置したりするなど、雨の日ならではの体験価値を生み出そうとするもので、晴れの日には建物をカフェとして使うこともできるそう。先輩が研究していた「1/fゆらぎ」に関する知見を参考にし、実際に話を聞きに行くことで、雨音のリラックス効果にも根拠を持たせていました。発想のおもしろさだけでなく、安心・安全といった観点まで視野に入れられている点が評価され、チーム「いちご大福」はいちごの企業賞を受賞しました。

こうした企業探究で培った力が、その後の学びの土台となつていきます。

様々な「探究」に取り組むことができる環境

● INFORMATION ●

- 中学説明会 (PA体験あり)
6月20日 (土) 14:30～ ※要予約
- 中学説明会 (授業体験あり)
7月20日 (月・祝) 14:00～ ※要予約
- トキワ祭 (文化祭)
9月20日 (日)・21日 (月・祝) 10:00～
※入試相談コーナーあり。 ※要予約
- 中学説明会 (英語体験あり)
10月24日 (土) 14:00～ ※要予約



企業賞を受賞したチーム「いちご大福」

今回紹介した内容のほかに、同校には生徒が様々なテーマで「探究」に取り組む環境があります。「1/fゆらぎ」に関する知見も、もともとは「セミの鳴き声」についての探究ということで、企業探究を生かしたものから個人の興味を重視したのまで個性的なテーマに取り組んでいます。

中学1年次からの体系的な探究カリキュラムによって自分ならではの探究テーマを見つけてられる同校にぜひ一度足を運んでみてください。



ICTを最大限に活用した家庭科

女子校 恵泉女学園中学校

[学校HP] <https://www.keisen.jp/>

〒156-8520 東京都世田谷区船橋5-8-1 Tel.03-3303-2115

最寄駅/小田急小田原線「経堂駅」「千歳船橋駅」徒歩12分。「経堂駅」、京王線「八幡山駅」から小田急・京王バス「桜上水二丁目」徒歩2分。



中1が翌年の新入生へ人形を贈るのが恵泉の伝統。入学して最初に挑むのは、その人形のスカート作り。レースやリボンをつけて工夫を凝らす生徒も



中3の避難所づくり。ポスターセッションの準備の様子

プラスチック由来のファッションからの脱却!

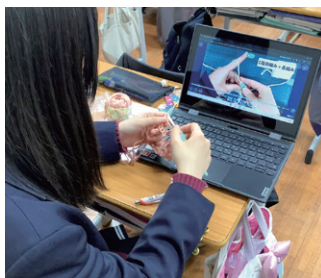
「聖書」「国際」「園芸」を教育の柱にし、いのちを慈しむ精神を育むことを目標としている恵泉女学園。

「消費者教育」が専門の柳井美衣子先生が指導する家庭科は、「環境に優しく」「人に優しく」「社会に優しく」をテーマにして同校独自の授業を展開しています。

「本校では2020年より生徒全員分のPCが用意されているので、家庭科でもICTを活用した授業を行っています」

まず中3の授業についてお話を伺いました。

「中3の前半は災害時の避難所づくりについて学びます。実際に災害が起きた際、本校の校舎を避難所として仮定します。障害がある方、高齢者、



それぞれのベースでエコたわし作りに挑む

乳幼児がいるご家庭など避難所に来る方々の属性を考え、何が必要かをPCを使って調べます。また、中3の後半のテーマは「衣生活」で、ファストファッションから途上国の労働問題、エシカル消費などについて考えます」

生徒のみなさんは、ファストファッションを中心とした服が化学繊維由来のプラスチックからできていることを知り、自分たちの普段着についても考え始めるのだとか。さらに、プラスチック由来のファッションから脱却する方法を各自が考え、環境ジャーナリスト・メーカー社員・消費者などの役割を演じて、環境サミットを行います。

最後に地球や環境に優しい素材利用を実践するため、麻ひもとかぎ針を使って「エコたわし」作りにも挑戦します。「エコたわし作りは生徒一

人ひとりのベースでPCの動画を見ながら、それぞれの進度に合わせて制作します」
仕上がったエコたわしは各々ポートフォリオにまとめて発信します。ちなみに、ポートフォリオには工夫を凝らした動画を入れる生徒もいるそうです。

一人ひとりが専門家になるジグソー学習

「中1ではまず人と関わるマナーについて学びます。障害のある方、高齢者の方など多様な方々に対しての『ユニバーサルマナー』について力を入れていきます」

ユニバーサルマナーの視点の中3の避難所づくりへとつながっています。その後、人形のスカート作り、布のブックカバー作りも行います。

「食品ロス」について考える授業も中1です。「まず『買い物』『調理』『食べる』『片付け』の4つのテーマ(班)で10人ずつに分かれます。そこからさらに一人ひとりが10個の課題を深掘りします。それぞれをエキスパート(専門家)と呼び、調べたことをエキスパート会議でプレゼンをします」
例えば「片付け」の課題だと、「洗剤」や「生ゴミの堆

● INFORMATION ●

- 学校説明会 ※要予約
 - 第2回: 7月 4日(土) 第3回: 9月5日(土)
 - 第4回: 10月10日(土) 第5回: 12月5日(土)
- イブニング説明会 ※要予約
 - 5月29日(金)
- オープンスクール ※要予約
 - 6月13日(土) 10:00~12:00、14:00~16:00
- 恵泉デー(文化祭) ※要予約
 - 11月3日(火・祝)

※詳細は学校HPをご覧ください。

肥化」「フードドライブ」「子ども食堂」などが挙げられます。「これは『ジグソー学習』と言い、通常高校生レベルの学習法なのですが、恵泉の生徒は協働が得意ですので、中学生にとっても効果的です」
柳井先生は家庭科の授業を通じ、「社会問題と生活を両面から考え、生活者として自立してほしいですね。また、作る楽しさも知り、生活を豊かにしてほしいと考えています」と言います。一方、どんな生徒に入学してほしいか聞いたところ、「生活の中の『なぜ?』に興味を持てる子、科学者の視点も持てる子、生命を大切にできる学校なので生命の循環に興味関心がある子に入学してほしいですね」と答えてくれました。



卒業制作で、これまでの学びの集大成を披露

女子校 女子美術大学付属中学校

[学校HP] <http://www.joshibi.ac.jp/fuzoku/>

〒166-8538 東京都杉並区和田1-49-8 Tel.03-5340-4541

最寄駅/メトロ丸ノ内線「東高円寺駅」徒歩8分。



生徒たちの作品は3月に上野・東京都美術館にて女子美術大学・大学院・女子美術大学短期大学部との合同で展示された



「神アサギ」
河住 夏実さん
(絵画コース)
ミクストメディア
F100
(タテ1303
×ヨコ1620mm)



「追跡」
倉橋 千代子さん
(工芸・立体コース)
陶土、釉薬
(350×750×50mm)



● INFORMATION ●

- 公開授業 ※要予約
5月9日(土)、6月20日(土)、9月26日(土)
各日8:35~12:40
- 中学体験学習「絵を描こう!!」 ※要予約
6月7日(日) 10:00~、13:00~
- 入学体験会(小5・6年生対象) ※要予約
7月25日(土)
- 美術のひろば ※要予約
7月31日(金)、8月1日(土)
- 学校説明会 ※要予約
9月6日(日)、9月13日(日)

*ご予約、詳細は学校HP

作品展示会場
優秀者が後輩へプレゼン

女子美では高校3年次に全員が「卒業制作」に挑み、優秀者には「大村文子基金女子美術奨励賞」が授与されます。3月に東京都美術館で展示が行われ、受賞者から後輩へ向けたプレゼンテーションが実施されました。受賞した3名の声を紹介します。

自分と向き合い、試行錯誤の末につかんだ独自の表現

絵画コースの河住夏実さんは、女子美入学を機に離れた故郷・沖縄の記憶と、そこにある自然への再発見を主題に据えました。作品は、地元の集落で古くから大切にされてきた祈りの場である「神あさぎ」を油絵具に砂や土を用いて質感を高めて表現しまし

た。制作を通して得た日常のメモの習慣が財産になったと振り返ります。「夏休みが終わる直前、羽田空港で書いたメモが、このテーマのきっかけになりました。自分の好きなものや思い出は、自分が一番詳しく、自分にしか描けません。だからこそそこに強い感情がこもるのだと実感しました」(河住さん)。

工芸・立体コースの倉橋千代子さんは、自己の変化と過去への執着という内面的な葛藤を陶芸の抽象形態に転写しました。窯出しでは、作品に穴が開く、ひびが入る、想定より縮んでしまうなど複数の問題が発生。それでも「よくわからない」で終わらせず、見た人の感情に届く作品にしたい」という一心で、最後までこだわり抜きました。

大学でも立体アートの道に進む倉橋さんの目標は、さらに表現の幅を広げること

です。「今後は自分の見方だけに固定されない柔軟な視点を育てていきたいです。他者や異なる考え方も理解できるような、広い視野を持った表現者を目指します」(倉橋さん)。

デザインコースの工藤里陽さんは、約12万個のアイロンビーズを用いた巨大なモザイクアートを制作しました。モチーフは工藤さん本人と妹です。出会いと別れを繰り返す人生の中で、家族関係は不変であってほしいという願いを、満ち引きし移ろう海と対比して描出しました。

中学時代は周囲に引け目を感じていたといいます。女子美での学びを通じて自分なりの表現スタイルを確立したといいます。「デザインならアイデアで勝負できることに気づき、自分なりの戦い方を見つけてことができました。それからは自分でも満足ができる作品をつくれるよ

うになりました」(工藤さん)。

卒業後はデザインの枠を超え、新たな道へと進むといえます。自らの弱さや変化といった内面を直視し、作品へと昇華させた経験は、彼女たちに大きな自信を与えました。女子美で培った「自分と向き合う力」を糧に、卒業生はそれぞれの未来へ大きく羽ばたくでしょう。

「maNeT」
工藤 里陽さん
(デザインコース)
ミクストメディア
(タテ1940×ヨコ1620×高さ115mm)





自分の“興味あること”に気づき、突き詰める年間研究

女子校 日本女子大学附属中学校

[学校HP] <https://www.jwu.ac.jp/jhsc/>

〒214-8565 神奈川県川崎市多摩区西生田1-1-1 Tel.044-952-6705

最寄駅／小田急小田原線「読売ランド前駅」徒歩10分。京王相模原線「京王よみうりランド駅」
「京王稲田堤駅」(城下バス停) から小田急バス「女子大前」。



図書室で、研究テーマの見つけ方や、調べ学習と研究の違いを学び、各自年間研究テーマを模索する



テーマを考えるために、書籍を選んだり、インターネットで情報収集をしたりする生徒たち

自ら考え、学び、行動する、
自学自動の精神を教育目標と定める中学校。総合学習の中では、3年間の学びの集大成として自分で設定したテーマに沿って探究を進める「年間研究」を行っています。
中学2年では図書館と連携して資料の調べ方や参考文献の見方、ネット情報の扱い方などを学びながらテーマを決め、春休みには素材集め、5月には研究をスタートさせます。「今の生徒はパソコンライズされた情報が次々に与えられる環境にいますので、好きなことが固定化されてそこから先に興味が広がらず視野も狭いです。でも年間研究を通して自分の好きなことに気がつき、ただ調べて終わるだけ

調べ学習で終わらない！
試行錯誤しながら先を見つける

でなく、そのテーマについて興味をもってくれる人をどうしたら増やせるのか、今後社会にどうアプローチしていくのか、その先まで考えられるようになってほしいと考えています。一番大切なのは生徒のやりたい気持ちがあるテーマの中につまんでいること。最後までやった、ひとつの形になったということがゴールになればと思います」と語るのは宮崎可奈子先生。

負けず嫌いな性格が功を奏して
新しい発想につながった

今回CURIO SCHOOLが実施した「中高生探究コンテスト2026」に希望者数名が応募し、「困りごと部門」で「モチベーションを保ったまま継続できるアプリ開発」をテーマにした、中学3年のA・Tさんが6621名の中からファ



実際にアプリを使った人のフィードバックを生かして、さらにバージョンアップをしようとA・Tさん

イナリストに選ばれました。「コロナ禍にテレビで見た、プラスチックのカップを積み上げたり元に戻したりするタイムレースのスポーツスタッキングという競技に興味をもちました。元々負けず嫌いの性格なのですが、毎日練習をしているいたら国内外の大会に出られそうなタイムになりました。3日で行われた世界大会で3位になりました。練習は勉強の合間にリフレッシュのために30分ほどやります。でも基本的にひとりなのでモチベーションを保つことが難しいと感じました。そこで以前プログラミングのキャンプに参加したことを思い出し、スポーツスタッキングとプログラミングを掛け合わせたら何かできないかと思いついたんです」とA・Tさん。

モチベーションや継続に関



今回のテーマの展開が書かれたA・Tさんのポスター発表。全生徒の研究成果がフロアに展示されるため、お互いの成長を感じつつ、下級生にも刺激を与えられる

する本を読んだり、スポーツスタッキングの選手や野球選手にアンケートをとったり、メンタルトレーニングセミナーに通って考察するなど、さまざまな試行錯誤とフィードバックを繰り返して完成したアプリが「Motikeep」。

Apple社への申請も自ら行い、数回の修正を重ねてアプリの配信まで漕ぎ着けました。小学生の頃から起業家になりたいと思っていたTさん。今後は興味がある日本文化をテーマに、今回得た技術と経験をいかした情報発信を考えているそうです。

INFORMATION

- 授業見学説明会 ※要予約
6月9日(火) 10:50~12:35
- 校舎見学会 ※要予約
6月13日(土) 午前/午後
- 目白夕方説明会 ※要予約
6月26日(金) 18:30~19:30
- オープンスクール ※要予約
7月26日(日)、8月22日(土)

※詳細・最新情報・ご予約は学校HP



建学から100年、受け継がれる“徳を成す”人材育成

共学校 東京成徳大学中学校

[学校HP] <https://www.tokyoseitoku.jp/js/index.html>

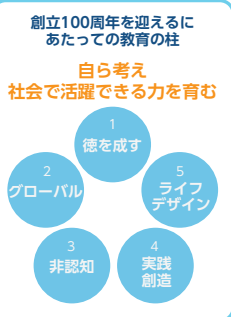
〒114-8526 東京都北区豊島8-26-9 Tel.03-3911-7109

最寄駅/メトロ南北線「王子神谷駅」徒歩5分。JR「東十条駅」徒歩15分。
JR「王子駅」・都電荒川線「王子駅前」からバス「王子五丁目」徒歩5分。

建学の精神は「成徳」
徳を成す人間の育成

2026年度に創立100周年を迎える東京成徳大学中学校。創立者の菅澤重雄先生は徳を成す人材の育成を目指し建学しました。創立者の考えを第三代理事長木内四郎兵衛先生が「5つの教育目標」として集約。それが、①おおらかな徳操、②高い知性、③健全なる身体、④勤労の精神、⑤実行の勇氣。この5つの目標は今も受け継がれています。

そして100周年を迎える今、教育の柱は①徳を成す、②グローバル、③非認知、④実践・創造、⑤ライフデザインに。成徳の精神を持ちながらグローバルに社会で活躍できる力を育むことを目指します。「徳を成す」とは、時代や社会の変化を受け止めながら他社を尊重する心を育み、自分自身を磨き続けること。



東京成徳での6年間の流れ

中学課程

1年生(中1)

学校生活のスタート



自分の内面を見つめ、「人と人のつながり」への考えを深める

2年生(中2)

セブ島短期語学留学



自分を深める学習

生と死を考える授業から「命のつながり」を学び、どのように生きるかを考える

3年生(中3)

ニュージーランド学期留学
国内グローバル



自分とは異なる「他者」との協働や関わりから「社会とのつながり」を学ぶ

高校課程

4・5・6年生(高1・2・3)

Diversity Seminar(4年生)

実地踏査型研修旅行(5年生)

中学3年間の土台づくりを経て、興味や得意分野を伸ばすゼミや年間研究に取り組み、正解のない社会課題に向き合いながら、将来の目標ややりたい自分を見極める

「グローバル」は世界的視野で物事を捉え、国際的な課題の解決に貢献すること。「非認知」は論理的思考力やコミュニケーション能力、自己肯定感、協調性などの社会で必要なスキル。「実践・創造」とは将来どんな生き方をするか自分で考え実現する力をするにつけること。そして「ライフデザイン」は生涯を通して学び続け、常に自分を高めていくこと。少しずつ形をかえつつ、100年たった今も建学から変わらぬ「徳を成す」人

東京成徳の学びの核 「自分を深める学習」

材育成に力を注いでいます。東京成徳にはオリジナル教科「自分を深める学習」があります。2003年からスタートした教育で道徳のようなもので「徳を成す」人材育成の一環。「自分とは何か」「なぜ学ぶのか」「どう生きるのか」がテーマで学年ごとのテーマに沿って意見を出し合い、みんなで考えていきます。中1では中学という新しい

環境で人とのつながりや自分自身の内面を見つめ、互いを肯定し信頼できる人間関係について考察します。中2では、命について考えます。セブ島への短期留学では英語学習や現地のアクティビティに参加するだけでなく、スラム街にある孤児院への訪問などもあり、日本の良さや自分たちの生活を改めて振り返り、命についてもより深く考えるきっかけに。そして中3ではニュージーランド留学や国内グローバルカリキュラムを通じて異文化を知り、他者とう協働し、関わっていくべきか、さらに自分はどう生きるべきか、将来をどうするか自分で考えていきます。独自の教科や特色ある授業を通して、変わらぬ建学の精神のもと、主体的に学ぶ力を育て、社会で活躍できる徳を成す人材を育成しています。

● INFORMATION ●

- オープンスクール ※要予約
5月9日(土)、6月6日(土)
- 学校説明会 ※要予約
5月17日(日)、6月21日(日)
- 校舎見学会&体験授業 ※要予約
5月24日(日)、6月14日(日)
- 夕方説明会 ※要予約
5月26日(火)
- 平日説明会 ※要予約
6月9日(火)

*ご予約、詳細は、学校HP



中1「ベトナム研修」は実践的プログラムで異文化体験

共学校 八千代松陰中学校

【学校HP】 <https://www.yachiyoshoin.ac.jp/>

〒276-0028 千葉県八千代市村上727 Tel.047-482-1234

最寄駅/京成本線・東葉高速鉄道「勝田台駅」からバス「八千代松陰高校前」。スクールバス:「勝田台駅」、東葉高速鉄道「村上駅」から通学用直通バス、「北総コース」ほか生徒専用会員バスあり。

■ベトナム研修行程表

1日目	ハノイ到着 午前:ハノイ市内観光
2日目	午後:現地ベトナム人大学生とともに6班に分かれてインタビューワーク
3日目	世界遺産ハロン湾観光
4日目	教育提携校ベトナム・日本国際学校訪問(ホームステイ)
5日目	教育提携校ベトナム・日本国際学校訪問
6日目	現地視察(企業訪問[Viet MCJ]、FPT大学交流など)
7日目	成田着



取材に答えてくれたIGSコース1年のみなさん。左から田中美陸さん、伊藤さくらさん、森田志美さん、片倉千曉さん。

中学1IGSコースで 全員参加の「ベトナム研修」

2026年度に創立50周年を迎える八千代松陰。広大な敷地に恵まれた教育施設を擁し、「生徒一人ひとりの持ち味を生かす教育」を行ってきた同校は、高校のIGSとAEM(共に特進)コースのプログラムを中学に導入。2024年度から中高一貫のIGS(6カ年特進)コースをスタートさせた。IGSは「Intercultural General Studies」の略で、「異文化理解のために必要な教養全般を学ぶ(コース)」の意味。定員30名の1クラス制で6年間クラス替えなし。確かな学力「キャリアデザイン」「グローバル感覚」の3つをキーワードに、多彩な国際交流プログラムが用意されています。中1の3学期に実施される全員参加の「ベトナム研修」



教育提携校のベトナム・日本国際学校の生徒たちと一緒に記念撮影。八千代松陰の生徒たちはベトナムの民族衣装アオザイを着てにっこり。

も、生徒たちに人気が高いプログラム。異文化理解や主体性を高め、国際感覚を磨くことを目的としたGCP(グローバル・チャレンジ・プログラム)の一環です。同校OBの事前講演会やJETROアジア経済研究所訪問などで現地理解を深め、そこから班別に「ゴミ問題と大気汚染」「交通事情」「衛生事情」などをテーマに論文作成および現地調査に繋がっています。

ベトナム社会のリアルに触れる刺激体験

ベトナム研修に参加した4人の生徒さんたちは、最初は治安や衛生面など不安もあったけれど、提携校の生徒たちとの交流やホームステイ先でベトナムの人たちと触れ合うことで、徐々に現地の生活に慣れていった様子。印象に残ったことを聞く



日本語で授業を行うベトナム・日本国際学校の生徒たちと一緒にワークに取り組んだ。

と、「日本国際学校で民族衣装のアオザイを着せてもらった」(田中美陸さん)、「現地の人と実際に話してみると皆さんがフレンドリーで優しかった」(伊藤さくらさん)、「街中に信号がほぼなくて、バイクがビュンビュン走っていたことに驚いた」(森田志美さん)、「現地の大学生とカタコトの英語で意思疎通ができて嬉しかった」(片倉千曉さん)と、ベトナム社会のリアルに触れた答えが返ってきました。

海外渡航も初めて、ベトナムに関する知識もほぼ白紙だった生徒たちが、事前学習、先行研究から街頭インタビューなどのフィールドワークまで、わずか半年余りでPDCAのサイクルに沿った探究スキルを獲得していることに驚かされます。「予想以上に彼らの学びや

● INFORMATION ●

■ 学校説明会
5月16日(土)、6月27日(土)
生徒が説明・案内
7月25日(土)、9月19日(土)
LR-IGSコース別説明

■ オープンスクール
8月22日(土)・23日(日)
クラブ体験
9月5日(土) 授業体験

※詳細は学校HPでご確認ください。

気づきが深く、自慢の生徒たちです」と担任の前川大知先生。「常に目的意識を明確に持っているのので頼もしいです。初体験のホームステイもそれぞれがゴール設定し、学びの質を高めていました。次はもっと探究度合いの高いものにチャレンジしていけるのではないのでしょうか」と期待を込めます。

否応なく現地に飛び込む体験が刺激度の高い学びとなるはず。海外から見た日本への気づきは、中2の京都・奈良修学旅行でさらに深度を深めるに違いありません。

「他国のことを探究しながら、客観的に日本を見つめ、新たな気づきを得る。そんな意識の逆流が異文化を理解する一助になるのではないかと前川先生。実践的なIGS教育を中高6年間かけて学ぶ生徒たちがどのように成長していくのか。期待が高まります。



独自の「大学訪問授業」と進路指導で志望進路を叶える

別学校 桐光学園中学校

【学校HP】 <https://www.toko.ed.jp>

公式Facebook、公式Instagram、公式X、公式LINE、公式YouTube 公開中

〒215-8555 神奈川県川崎市麻生区栗木3-12-1 Tel.044-987-0519

最寄駅／小田急多摩線「栗平駅」徒歩12分。



書籍化もされている「大学訪問授業」。ぜひご一読あれ！

「大学訪問授業」で学ぶ楽しさを知る

来年間講20周年を迎える「大学訪問授業」は、他校には類を見ない桐光学園独自のユニークなプログラムで、大学の先生や各界で活躍する著名人の方が大学の授業さながらに自身が研究する学問や仕事について講義します。年間20回、土曜日の4時限目に行われ、高校生のみならず中学生、さらには保護者も受講可能となっています。

昨年度は人気若手文芸評論家の三宅香帆氏や宗教学者・釈徹宗氏、哲学研究者・戸谷洋志氏らが登壇し、注目を集めました。今年度も脳科学者の恩蔵絢子氏や能楽師の安田登氏、看護学者の西村ユミ氏、科学史家の隠岐さや香氏など20名、多彩な先生方の登壇が予定されています。



過去には詩人の故・谷川俊太郎氏も講師として登壇



2025年度の「大学訪問授業」釈徹宗氏の講義

「大学訪問授業は、大学の学部・学科選択の一助にもなっています。毎年、様々な分野から講師となる先生をお招きしていますが、オフアールするのはこのプログラムを企画した前校長の中野浩先生で第1回から行っています。多忙な先生になると数年越しということもあります。過去にはその先生が教鞭を執る大学を志望し、そのゼミに入りたいと希望を叶えた生徒もいました。また、「大学訪問授業」では先生方の学問を追究する姿勢から、「答えがない」ことも実感として学んでいきます」と話すのは進路指導の中桐雅也先生。

卒業生も後輩たちの進路選択を後押し

大規模校である同校は様々な分野で活躍する卒業生を輩出してきました。そんな卒業生を呼んでの講演会は中3を中心に様々な学年で実施。

昨年高1の講演会で話をしたのは、慈恵医科大に勤務する医師の大村和弘先生です。大村先生は年に1回東南アジアに赴き、ボランティアで医療と教育の支援を行っています。そして、その様子は「DAYS」という映画にもなっています。その一方で、医療に興味がある高2と高3の生徒7名が大村先生の職場を訪れ、医療現場を見学しました。「参加した生徒は皆感動し、医学への志を強いものにした」と言っていました。また、そのうち高3の女子2名が今春医学部に進学しました（中桐先生）



卒業生である大村和弘先生の講演

「別学だからこそそのびのびと勉学に励むことができ、また『女子だから』と遠慮せずに進路を決められる。近年では女子の医学部志願者も増えています」（中桐先生）
様々なしかけが生徒の希望進路を叶えています。

● INFORMATION ●

■中学校見学ツアー
5月9日(土)、6月13日(土)、10月24日(土)

■中学校説明会
6月14日(日)、6月27日(土)、7月12日(日)
8月2日(日)、9月13日(日)、10月3日(土)

■帰国生対象説明会 8月9日(日)

※すべて要予約です

※個別に見学対応可能。TEL・メールにてお問い合わせください。
※変更の場合もありますので、詳細は学校HPをご覧ください。



多彩な学びで育てる、確かな未来

女子校 北鎌倉女子学園中学校

【学校HP】 <https://www.kitakama.ac.jp/>

〒247-0062 神奈川県鎌倉市山ノ内913 Tel.0467-22-6900

最寄駅 / JR 湘南新宿ライン 横須賀線「北鎌倉駅」徒歩7分。

のびやかな自立した女性を育むという教育方針のもと、伝統と革新を融合させた学びを行っている北鎌倉女子学園。生徒一人ひとりがICT端末を「思考のツール」として日常的に活用し、楽しみながらこれからの時代に不可欠な発信力と創造性を磨いています。

また、歴史が息づく北鎌倉の地の利を活かし、円覚寺や鶴岡八幡宮での講話、芸術鑑賞や礼法を通じて豊かな感性と品格を養う「心の教育」を実践。授業では対話を重視したグループ学習やプレゼンテーションを行い、自ら深く考える力を引き



出しながら、一人ひとりに合わせたきめ細やかな指導を行っています。

本格始動した「国際コース（中3・高校）」では、中学で週9時間、高校3年間で最大42単位に及ぶ英語・国際の授業を受講可能。圧倒的な時間数で確かな語学力を築き、ニュージーランドへのターム留学（中3・高1、任意）や海外提携校との交流で実践力を磨きます。国内難関大学への進学はもちろん、日米2つの高校卒業資格を得られるDual Diploma ProgramやUPAS（海外大学進学協定校推薦制度）により、卒業後の舞台は世界へとボーダレスに広がっています。

● INFORMATION ●

- 学校説明会
5月30日（土）、7月4日（土）
10:00～11:30
- 放課後学校説明会
6月12日（金） 16:30～17:30
- 学園生活体験会
6月20日（土） 10:00～12:00
- 夏の自由研究教室
7月26日（日） 10:00～12:00

土曜チャレンジで「なりたい自分」を見つける

女子校 横浜女学院中学校

【学校HP】 <https://www.yjg.y-gakuin.ed.jp/>

〒231-8661 神奈川県横浜市中区山手町203 Tel.045-641-3284

最寄駅 / JR 根岸線「石川町駅」徒歩7分。市営地下鉄B/L「伊勢佐木長者町駅」徒歩18分。

2025年度より始動した「土曜チャレンジ（通称・ドチャレ）」は、月に一度開催される特別授業です。毎月30以上の多彩な講座が用意され、生徒たちは自らの興味関心に従って受講したいものを選びます。

- 学校説明会
6月27日（土）
9月26日（土）
10:00～12:00
- 部活動・授業体験も予定しています。
20組限定の「ミニ説明会」についてはHPをご確認ください。

昨年4月には、計36もの講座が開講されました。「洋菓子をつくるう！」「対話チャットbotをつくらう！」「K-POPダンス体験」といった感性を刺激する体験型から、「医工学連携によるものづくり」「経営・マーケティング学の基本」「古代英語の不思議」など、知的好奇心を深める専門的な内容まで多岐にわたります。講師を務めるのは、社会の第一線で活躍する卒業生や保護者、高大連携を結ぶ大学の先生といった各界のスペシャリストたちです。「どこで生徒の心に火がつくか分からない。だからこそ、本物の刺激と出会いをたくさん用意する」。この信念を体現したドチャレを通じて、生徒たちは実社会とのつながりを肌で感じます。多様な価値観に触れる経験は、日々の学習の意義を見出すきっかけとなり、自分自身の世界を広げ、将来の学びの軸となる「好きなこと」を見つける原動力となっています。





「0 to 1」何もないゼロから新しいイチを生み出す

★女子校 日本大学豊山女子中学校

[学校HP] <https://www.buzan-joshi.hs.nihon-u.ac.jp/>

〒174-0064 東京都板橋区中台3-15-1 Tel.03-3934-2341

最寄駅 / 東武東上線「上板橋駅」・都営三田線「志村三丁目駅」徒歩15分。JR「赤羽駅」、西武線・都営大江戸線「練馬駅」からバスあり。スクールバス：「赤羽駅」から15分、「練馬駅」から20分。

春季短期留学に参加する者は、ニュージーランド

加えて本校は充実した留学プログラムもあります。中学1年生から希望者は、ニュージーランド

日本大学付属の環境を活かし、中学1年生から日本大学の学部見学を行います。将来を見据えて、自分自身が活躍したいと考えている分野の研究を、中学1年生から体験

日本大学豊山女子の教育を一言で表すと、「アントレプレナーシップ（起業家精神）」です。先が見えない不安な時代の中で、みなさんは大人になり、社会人となります。本校はその中で「自分の意志で選択できる力」を育成していきます。



中学1・2年生の希望者が参加することができる、約16日間のニュージーランドでの春季短期留学

● INFORMATION ●

■ 土曜見学会 ※要予約
5月 9日(土) 10:00~11:30
5月30日(土) 10:00~11:30

* 予約、詳細は学校HP <https://www.buzan-joshi.hs.nihon-u.ac.jp/>

ことが出来ます。約16日間の留学・ホームステイを通じて国際感覚を身に付けることが出来ます。他にもチーム留学制度やオンライン英会話教室等、国際教育のプログラムを整えています。一緒に豊山女子で新しいイチを作ってみませんか？

New! NettyLandコンテンツ

『もう悩まない!』

受験親子の“最適”ごはん

～迷いを自信に変える、判断コストゼロの12ヶ月～

3つのポイント

- 1: 「脳・心・体」を支える食習慣のいろはがわかる!
- 2: これだけは守る! 「判断軸」を作って判断コストをカット!
- 3: 「これさえあれば大丈夫!」という食材でつくったレシピも紹介!

毎月第3金曜日に更新!
詳しくは二次元コードからアクセスしてね!

料理研究家
尾田衣子先生

my time

my own place

放課後も 私の時間 私の場所

好きなことを好きと言える場所。楽しさを共有できる仲間がいるところ。
今号は、そんなクラブ活動の魅力を見ていきましょう。

「好き」に没頭できる

学校選びの視点に、クラブ活動を挙げる受験生も多く、学校のホームページやパンフレットを開くと、授業や教育プログラム、行事のほかに、クラブ活動紹介のページがあります。そこには、「何か」に没頭する中高生の姿が。一人ひとりの「やってみよう」「好き」「なんだか気になる」という思いが出発点だから熱くなれる、と、その瞳が語りかけてきます。

クラブ活動は、概ねスポーツ系の「運動部」と、それ以外の「文化部」とに分けられていますが、活動内容は時代とともに変化し多彩に広がっています。

一瞬にかける

「運動部」は、メジャーなスポーツやダンスなど人気の高いものから、ラクロス、トライアスロンなどの新しい競技、フェンシングやダブルダッチ、スカッシュ、なぎなたなど珍しいクラブまで多彩です。ラグビー、サッカー、野球などには、女子部も増えてきました。動画やデータを駆使した分析も、珍しくありません。

とことんハマる

スポーツ系以外の部活動を「文化部」とし、その中で、芸術・音楽系、学び系、文芸系、競技系というような分け方をすることもあります。また、eスポーツや麻雀、



写真提供/ 淑徳中学高等学校

投資などクラブにも、新しい風が吹いています。書道部に個人の創作だけでなく部員一丸となるパフォーマンスがあり、生物部に鳥や爬虫類、魚、昆虫など多様な班があるように、お互いの興味・関心を尊重するつながりが、クラブを居心地の良い場所にする理由の一つでしょう。

「興味」「挑戦」を我慢しない

クラブは、サークルや同好会からスタートして、クラブに昇格するなど、新しいことに挑戦できるフィールドでもあります。そんな生徒を、応援し見守る姿勢も、クラブ活動か



写真提供/ 桐光学園中学校・高等学校

ら伺える学校の魅力の一つ。また、模擬国連部やSDGs部のような、社会課題に取り組みクラブは、自校の中にとどまらず、他校の生徒とコラボレーションしたり、地域などに広がりを見せるのが特徴です。新学年が始まります。文化祭やオープンキャンパス、クラブ体験会に参加してみましょう。それぞれの学校で、場所（施設）、曜日、時間、卒業生や併設大学との連携など活動の仕方は様々ですが、励まし、刺激し合う関係が生まれています。先輩たちの姿に、自分の姿が重なって見えるかもしれません。

さて、あなたの「好き」は、何？

工学院大学附属中学校

共学校

多くの先進的な取り組みを行う
工学院大学附属中学校の
魅力とクラブ活動の様子を紹介。

系列・提携大学との
交流で未来を創造

「最新の工学院が最高の工学院」と、進化し続ける工学院大学附属中学校の学校の魅力を語る中野ジョニー校長。

同校の特徴のひとつが、中高生のうちから大学の学びにリアルに触れる機会が多々あることです。同じ敷地内にある工学院大学とは授業だけでなく、クラブ活動でも大学生や教授陣と連携。

「自動車部では大学のソーラーチームと一緒に活動。デジタルでモノづくりをするデジタルクリエイター育成部では情報学部が参加するなど、密なやり取りをしています。ほかにも多くの運動部や文化部で大学生がチューターとして参加しサポートや指導をしています。必



中野 ジョニー 校長
生徒と同じ制服を着こなしていて、校長室には生徒の訪問が絶えない



自動車部では「白浜ソーラーカーレース」に出場し、社会人、大学チームと競った

然的に、中学生のうちから「大学生」というものが具体的にイメージでき、将来のキャリアパスにプラスになっています」
(中野校長)

系列の工学院大学には理工系しかありませんが、多様な進路を目指す生徒のため、東京薬科大学、杏林大学、法政大学、多摩美術大学、麻布大学などとも提携。2026年度は新たに國學院大学との提携もスタートする予定です。実際にその大学に出かけて授業を受けるなど、より実践的な提携を行っています。また海外大学への進学にも積極的に取り組んでいることもあり、毎年合格実績では海外大学も二桁を数えます。

失敗していいのが学校
だからこそどんどん挑戦を

授業においても日々の進化を追求しており、ICT教育にも注力するのが工学院スタイルです。ノートPCを活用しながら、生徒同士が学び合うことを中心に据え、教員はファシリテーターとして生徒の学びをサポート。

「これからの時代に欠かせない、AI活用の教育も積極的に進めています。AIは優秀なアシスタントであり、それをどう使いこなすかが重要です。AIに丸投げして答えを教えてもらうのではなく、AIが提供してくれる情報をどう解釈し、効率的に深い学びをするか。それをしっかり生徒たちに教育していきます」
AIに限らず、とにかく挑戦することを大事にしていると中野校長は語ります。

「本校の校訓は『挑戦・創造・貢献』です。学校はいくらでも失敗していい場所です。



法政大学のキャンパスツアーでは、大学生やキャンパスライフを身近に感じられる

工学院大学附属高校大学実績2026

国公立	8
東京芸術大学	1
北海道大学	1
弘前大学	1
東京都立大学	3
神奈川県立保健福祉大学	1
都留文科大学	1
早慶上理 ICU	26
早稲田大学	3
慶應義塾大学	2
上智大学	9
東京理科大学	11
ICU	1
GMARCH	67
工学院大学	84

だからこそ、生徒たちは失敗を恐れずに安心して挑戦することができました」

たくさん失敗して、そこから『なぜうまくいかなかったのか』『どうすればよりよくなるのか』を考えることで、生徒たちは大きく成長していくのです。

中学受験をする
そのことこそがすごい！

最後に中野校長からメッセージをいただきました。

「中学受験は目先の合格が全てではありません。過酷な受験に『挑戦しよう』と覚悟を決めて努力している。それこそが素晴らしいことです。保護者のみなさまは、そんな頑張っている子どもたちがゆっくりと安心して羽を休める場所を家庭でつくってあげてください」

主役はあくまでも、いつもがんばっている子どもたち。子どもたちを見守り応援し、寄り添う学校の姿勢を中野校長の言葉から感じる事ができました。

〒192-8622 東京都八王子市中野町2647-2
☎042-628-4914

最寄駅/JR中央線「八王子駅」・京王線「京王八王子駅」からバス「工学院大学」・工学院大学西「徒歩5分」・スクールバスJRなど「新宿駅」「八王子駅」「京王八王子駅」「拝島駅」「南大沢駅」など5駅からあり。

サイエンス部

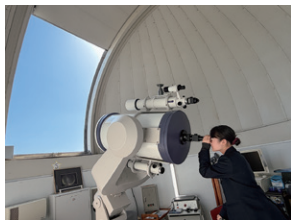
生物・化学・物理・天文・
銀河鉄道の5班で活動

部員数120名以上を誇る「サイエンス部」では、生物班、化学班、物理班、天文班、銀河鉄道班の5つに分かれて活動しています。

天文班に所属しているTさんは、「天文台がある」ことが中学受験の学校選びの基準だったというほどの「星好き」。学校の天文台で星を観察したり、天体撮影のためのスキル上達に、日々がんばっています。

「いちばんの思い出は夏合宿で初めてカメラで天体を撮影したことです。中高で活動しているのですが、先輩たちが丁寧にカメラの使い方を教えてくれたおかげで、北斗七星がきれいに撮れたのがとてもうれしかったですね。夢工祭では、段ボールでドーム状のプラネタリウムを作ったのも楽しかったです」(Tさん)

一方、生物班に所属しているのが、Oさんです。昔から植物を育てるのが好きで、大の鳥好きということもあり、生物



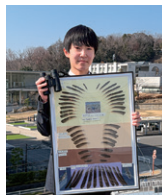
学校の天文台で観望するOさん
夢工祭でプラネタリウム製作したOさん
下校時の天文台観望の様子



左からOさん(中2)、Tさん(中1)



鳥の生態を観察するOさん
大きな鳥の生態を観察するOさん



班での活動は、とても楽しいと言います。60名と大所帯の生物班ですが、Oさんたち中2は「畑づくり」に力を入れていて、「来年は畑をもっと大きくしたい」(Oさん)と語ります。

生物班では、企業の森林生態系調査プロジェクトにも参加しています。

「高尾山などの森に足を踏み入れセンサーカメラをしかけて、数カ月後にそのデータを分析。ちよつと時期が変わるとニホンザルがたくさん出てきたりして面白かったです」(Oさん)

それぞれの興味を仲間たちと協力して追求するのがサイエンス部の魅力です。「ぜひ工学院の天文台できれいな星座をみてください」(Tさん)。「個性豊かなメンバーといういろいろな活動を楽しみましょう」(Oさん)。

ダンス部

幅広いジャンルの曲に
挑戦し、楽しくダンスを

約50人の中高生が一緒に活動するダンス部。人気のK-POPのほか、ヒップホップやジャズ、創作ダンスなどさまざまな分野のダンスに挑戦しています。

活動は中学生は週3回、高校生は週4回で、夢工祭、クリスマスフェスタ、新入生歓迎会など校内イベントのほか、イオンモールなどで開催される地域のイベントにも積極的に参加して、ダンスを披露しています。

「夢工祭で引退する高2とダンスを踊れたのは、かがえのない思い出です。やさしくて憧れの先輩たちの引退コメントを聞くときは号泣してしまつたほど、先輩たちが大好きです」(Oさん)。

「私は、どうしてもセンターで踊りたい曲があつたときに、センターになったのがうれしかったです。全力で踊って達成感がありました」(Sさん)

「部員には男子もいます。中高の垣根がなく、みんな



日頃の成果を発表する場。拍手をもらえるのが喜びに



イベントに向けて猛練習



左からSさん(中2)、Oさん(中1)

で元気に明るくダンスを楽しんでいるので、ぜひ仲間になつてほしい」(Oさん・Sさん)

INFORMATION

※すべて要予約

- 授業見学会
5月16日(土) 10:00~
- 学校説明会
6月20日(土)、9月12日(土)、
10月17日(土) 各日14:00~
11月22日(日) 13:00~
(入試予想問題体験あり)
- 夏休み自由研究教室
7月26日(日) 12:00~
- 夏期学校見学会
8月21日(金) 10:00~
- 夏期講習会
8月22日(土) 14:00~
- 夢工祭(文化祭)
9月26日(土)・27日(日) 10:00~15:00
- 体育祭
10月30日(金) 10:00~15:00
- 工学院クリスマスフェスタ
12月19日(土) 13:30~
(ワンランクアップ講習会あり)
- 入試対策説明会
1月9日(土) 14:00~
- オンライン直前学校説明会
1月23日(土) 12:00~

※詳細は学校HP
[学校HP] <https://www.js.kogakuin.ac.jp/>

東京都市大学付属中学校

男子校

「勉強もクラブも100対100」の校風はそのままに
 「全員Ⅱ類」のクラス編成改革で広がる学びと挑戦
 さらになる高みを目指して

多種多様なクラブが学校生活を充実させ、
 その経験が学びに向かう力の土台を育む

15年連続で都内男子校最多の志願者
 数を集め、前年からの受験者数の増加も
 都内ナンバードだった東京都市大学付

属中学校(世田谷区)。豊富な「科学実験」
 の授業での考察レポート作成や弁論大
 会、中期修了論文など、生徒たちが自ら
 考え探究したことを表現する力を伸ばす
 取り組みを多く実践している学校です。
 加えて、各学年に40〜50名在籍する海外
 帰国生との日常的な相互刺激や、中3希



公式のサッカーコートがとれる照明付きの全面人工芝グラウンド。体育の授業の他、多くの運動部が使用している

望者対象のニューゼalandチーム留学、
 マレーシア異文化体験プログラムなどの
 多彩な海外研修、さらには、中3の1年
 間を通じて取り組む「キャリアスタディ」
 などの機会を通じて、世界でたくましく
 生きる力を育てています。
 そんな同校には、運動系から文化系ま
 で、幅広いクラブが中学で25種類以上あ
 ります。原則週3回という活動日数は、
 他校に比べると決して多いわけではあり
 ませんが、「毎日の授業とクラブを、どち
 らも全力で取り組むのは当たり前」とい
 う校風のもと、生徒たちはそれぞれの興
 味に応じたクラブ活動に没頭しています。
 同校は、2026年入試から、これま
 でのコース制(難関国公立大・私大を目
 指すⅠ類、最難関国公立大を目指すⅡ類)
 を解消し、一本化しました。「校内での
 学力差が小さくなったために、あえて分
 ける必要がなくなったというのが一番の
 理由です。これから入学するお子さまに
 は、コースやクラス分けを気にすること
 なく、のびのびと部活動や学校行事に全
 力で取り組んでもらいたいと思います」
 と広報主任の田中望先生はおっしゃって
 いました。

メリハリある学習環境と充実の施設、
 多彩な行事が生徒たちの自慢!

今回取材にに応じてくれた生徒の皆さんに、
 「学校の自慢ポイント」を聞きました。日々
 の学校生活の中で感じている魅力とは？

「勉強するときはしっかりと勉強、部活の
 ときは思い切り打ち込むというメリハリ
 を持つて取り組める環境が整っていると
 ころが魅力です」(清水俊輔くん)

「施設が充実しているところも自慢です。
 図書室やカフェテリアがあり、『アルママ
 タホール』はとて広く、全面人工芝のグラ
 ウンドも気に入っています」(奥秋健太くん)

「行事がたくさんあり、中3では海外留
 学の機会もあるので、今からとても楽し
 みにしています」(折戸袖月くん)

「明るく開放的なキャンパスプラザ(中庭)
 も好きな場所です。友だちと話したり、
 モニュメントを眺めたりしながら、楽しい
 時間を過ごしています」(福島佑斗くん)

勉強にも、趣味の合う仲間たちとのクラ
 ブ活動にも思い切り打ち込める都市大付
 属。施設や行事など多様な経験を通して、
 自分らしい興味関心を広げている環境も
 魅力です。興味をそえられるクラブがあ
 れば、ぜひ説明会や文化祭に足を運び、同
 校の環境の良さを実感してみてください!

〒157-8560 東京都世田谷区成城1-13-1
 ☎03-3415-0104

最寄駅 小田急小田原線「成城学園前駅」徒歩10分。東急田園都市線「二子
 玉川駅」東急大井町線「等々力駅」JRなど「渋谷駅」からバス「東
 京都市大付属中高前」。

「まだまだある! 都市大付属のクラブ一覧」

運動部		
硬式野球部	軟式野球部	サッカー部
卓球部	水泳部	バドミントン部
バスケットボール部	剣道部	陸上競技部
アメリカンフットボール部(高のみ)	自転車部(高のみ)	柔道部
アイスホッケー部		ゴルフ部
文化部		
吹奏楽部	自動車部	天文部
鉄道研究部	マルチメディア研究部	将棋部
美術部	生物研究部	軽音楽部(高のみ)
		硬式テニス部
		少林寺拳法部
		ハンドボール部(高のみ)
		エレクトロニクス研究部

INFORMATION

■説明会 ※要予約
 6月13日(土) PM

■ミニ見学会
 ※要予約
 7月29日(水)~31日(金)

※詳細・最新情報・ご予約は学校
 HP

[学校HP]
<https://www.tcu-jsh.ed.jp/>

先輩後輩の関係性も深い！都市大付属のクラブ

鉄道研究部



鉄道研究部は中高で約50人が所属し、「現像班」「模写班」「模造紙班」に分かれて活動しています。部員が撮影した鉄道写真を現像したり、半年ほどかけて巨大なジオラマを制作したりと、それぞれの得意分野を生かしながら学年の枠を超えて楽しく活動しています。目標は、柏苑祭(文化祭)で「柏苑祭賞」を受賞すること。鉄道が好きな人はもちろん、工作や表現が好きな人もぜひ入学してください！



中学軟式野球部



中学生約30人が所属し、週3回、グラウンドで練習に励んでいます。打撃や守備、走塁などの基礎練習に加え、外部コーチの大学生から指導を受ける機会もあり、着実に力を伸ばせます。先輩後輩の仲も良く、チーム一丸となって大会での勝利を目指しています。勉強との両立を大切にしながら仲間とともに成長できる部活動です。野球が好きな人、挑戦してみたい人はぜひ参加してみてください。



受験生へのメッセージ

僕は小学校の頃から鉄道が好きで、この学校に入ったら鉄道研究部に入りたいと思っていました。入学してみると期待以上に楽しく、OBの先輩が遊びに来てくれるのも魅力の一つです。僕は現像係を担当し、撮影した写真を丁寧に仕上げる時間に夢中になっています。部活動だけでなく勉強にも力を入れており、定期テストの1週間前になるとカフェテリアで友だちと一緒に勉強するのが習慣です。好きなことに打ち込みながら充実した毎日を送っています。

受験本番では、思うような結果にならないこともあるかもしれません。

でも、最後まであきらめず、自分を信じて一歩ずつ進んでください！

(中2・折戸柚月くん)

僕は鉄道研究部に仮入部したとき、模型づくりの楽しさにひかれて入部を決めました。先輩方はやさしく、部員は鉄道好きばかりで、ポウリングに行ったり写真を撮りに行ったりと縦のつながりができるのも魅力。僕は模写班でバスのロータリーを制作しました。柏苑祭では担当パーツを組み合わせで5~6畳ほどの大きな模型が完成するので、楽しみにしてください。

受験を振り返ると、小6のはじめはまだ小5の気分だったかも知れませんが(笑)。みなさん、あと1年、時間を大切に頑張ってください！

(中2・奥秋健太くん)

受験生へのメッセージ

僕はWBCの試合を観て野球に興味を持ち、友だちに誘われて軟式野球部に入学しました。大学生トレーナーの方が丁寧に指導してくださるので、自分でも上達を実感でき、もっと練習したいと思うように。家の近くの公園で素振りを行っています。勉強との両立も大切にし、時間の使い方を工夫したことで学年1位を取ることができました。

中学受験では緊張したり不安に感じたりすることもあると思いますが、努力は必ず力になります。最後まで自分を信じて頑張ってください。応援しています！

(中2・清水俊輔くん)

僕は俊足を生かしてチームに貢献できるよう、毎日のランニングを欠かさず続けています。入学当初は勉強と部活動の両立に慣れず、1年の2学期の成績を見て焦りましたが、英語と数学を中心にコツコツ努力を重ね、少しずつ成績も伸びてきました。先生方も話しやすく、安心して相談できるので、楽しく充実した学校生活を送れています。

受験生のみならず、目標をもって努力を続けてください。あと1年、きっと大きく成長できます。応援しています！

(中2・福島佑斗くん)



インタビューにこたえてくれた、左から、福島佑斗くん、清水俊輔くん、奥秋健太くん、折戸柚月くん

東海大学付属相模高等学校・中等部

共学校

〒252-0395 神奈川県相模原市南区相南3-33-1
 ☎042-742-1251
 最寄駅／小田急小田原線「小田急相模原駅」徒歩8分。小田急江ノ島線「林間駅」小田急江ノ島線「東急田園都市線」中央林間駅「徒歩20分。
 「中央林間駅」自転車10分。

部活動を通して、自分で考え、仲間と高め合いながら、それぞれの「好き」を見つけていく。
 東海大相模には、未来を広げる6年間があります。

部活動は学業と並ぶ教育の柱

東海大学付属相模高等学校・中等部では、部活動を学業と並ぶ教育の柱としています。目指しているのは、勝敗や実績ではありません。生徒たちが自分で考え、役割を担い、先輩後輩の関わりの中で自主性を育むこと。そして、勉強と部活動の両方に向き合いながら、礼儀や協働性を含めた人間的成長につなげ、バランスの良い人材を育てること。さらに、多様な活動の中で自分の好きなことや得意分野を見つけ、それぞれの可能性を広げていくことも大切にしています。今回は、同校の数ある部活動の中から、吹奏楽部、女子硬式テニス部、サッカー部について、副校長の森公法先生と教頭の土方西紀先生にお話を伺いました。



吹奏楽部：東関東マーチング大会



吹奏楽部：演奏の様子

自分たちで響かせる音、吹奏楽部

吹奏楽部では、生徒たちの自主性が大切にされています。日頃の活動は、部長を中心に、自分たちで考えながら進めています。その積み重ねは、かながわ新人コンクールでの金賞、首都圏学校交歓演奏会への推薦、さらには東関東マーチングコンテスト金賞、日本ジュニア管打楽器コンクール全国大会出場へとつながっています。地域イベントなどで、多くの人に聴いてもらえることも部員たちの喜びとなっています。

バランスよく伸びる、女子硬式テニス部

女子テニス部は、明るく前向きな雰囲気の中で、経験者だけでなく初心者も活動しています。1年生から実際に打球練習ができるよう工夫されており、基礎を大切にしながら実践にも取り組めるなど、同校らしい、バランスの取れた環境が整っています。高校と一緒に練習する機会もあり、より高いレベルに触れられることも魅力です。一人ひとりが無理なく力を伸ばし、関東大会や全国大会にも着実に出場しています。

多様な個性が集う、サッカー部

サッカー部には、多様な個性を持つ生徒たちが集まっています。高校サッカー部の存在も大きな目標になっており、それぞれが自分の目標を持って練習に励んでいるそうです。部員数は約40名。複数チームで活動しているため、一人ひとりが自分の立場や持ち味を生かしながら成長できるのも特徴です。礼儀や挨拶を大切にすることが部のまとまりにつながり、相模原市中学校総合体育大会2年連続優勝、市内三冠、県大会出場という結果にも結びついています。



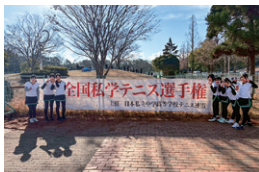
サッカー部：試合の様子



女子テニス部：関東大会



サッカー部：数々の大会で優勝



女子テニス部：全国私学大会

好きなことを見つけ、自分の軸を育てる

東海大学付属相模高等学校・中等部の魅力は、今回紹介した3つの部活動だけではなく、海ゴミ対策やプログラム作成を行っている自然科学部の探求活動をはじめ、書道や華道など多くの文化部が活発に取り組んでいます。また、ラグビー部や柔道部では、中等部で培った力を高校でも発揮している生徒たちが多くいます。森先生は「好きなことを見つけ、それとことんできる学校」と話し、土方先生も「多様な活動の中で自分の軸を育ててほしい」と語ります。学業・部活動・行事に向き合いながら、自分らしい可能性を広げていけることが、同校6年間ならではの魅力です。

INFORMATION

- 学校説明会 ※要予約
 - 10月11日(日) 10:00~11:30
 - 11月14日(土) 14:00~15:30
 - 12月12日(土) 10:00~11:30
 - 1月9日(土) 14:00~15:00 (6年生対象)
 - 入試問題解説会 ※要予約 6年生対象
 - 10月24日(土) 9:30~12:00
 - オープンキャンパス ※要予約 5・6年生対象
 - 6月6日(土) 9:20~11:40
 - 9月12日(土) 9:20~11:40
 予約制で個別の部活動見学も可能です。
 - サイエンスラボ ※要予約 4~6年生対象
 - 8月8日(土) 10:00~12:30
- [学校HP] <https://www.sagami.tokai.ed.jp/>

獨協中学校

男子校

「結果を出してこそ努力」と言い切れる
強い精神力と
指導者や仲間との絆を育む

1月の新人決勝大会では
東京都ベスト16と健闘



左から、ゲームキャプテン横井征宗さん、部長岡田幹さん、エースアタッカー小林蒼汰さん

獨協中学高等学校には34の部活動があります。その中で近年活躍が目覚ましいのがバレーボール部。中高生合わせて約60名が所属しています。2026年1月の高校新人大会では、創部以来最高成績となる東京都ベスト16に輝きました。この結果を支えているのが、外部コーチ。主に技術面を指導し、生徒たちはめきめきと力を上げています。練習は週に3回、



激しい練習はいつものこと。「かなりキツイ」と言いながらも生徒たちの顔は充実感に満ちている



外部指導員がコーチとなり練習を指導。高校生と中学生は別々に行うが、先輩たちが真剣に取り組む姿が中学生にも刺激を与えている

INFORMATION

- 学校説明会 **※要予約**
5月16日(土) 15:00~17:00
6月20日(土) 15:00~17:00
10月10日(土) 15:00~17:00
11月3日(火・祝) 10:00~12:00
- 学校体験会 **※要予約**
7月19日(日) 9:00~12:30
- 文化祭
9月19日(土)・20日(日)
10:00~15:00
- 部活動体験会 **※要予約**
概ね月に1度開催(部活動や時間等の詳細はHPで告知)

※予約、詳細は学校HP
[学校HP] <https://www.dokkyo.ed.jp/>

全員がボールに触れ、休む暇がないほど全力で取り組んでいます。躍進を続けるバレーボール部の生徒に話を伺いました。
横井…中学に入ってバレーボールを始めていた人ばかりで、最初は練習についていくのがやっとでした。中2で都大会に出られるようになり、高校の新人大会で過去最高の成績を出せました。週3回の部活や夏休みの合宿など、練習はキツイですが、勝ったときの喜びは格別です。
岡田…練習をしたからこそ、ここぞという時のあと一歩が出ると思います。

小林…いいプレーができる自分が世界で一番輝いているんじゃないかと思えます。
岡田…コーチは常に対等な立場で接してくれ、厳しい言葉も自分のために言うてくださっていると伝わります。
小林…練習中は本当に厳しいですが、練習以外は優しく話しかけてくれます。一緒に戦う仲間だと感じています。
結果を出すためにするのが努力、今しかできない経験の連続
横井…ハードな練習や合宿で頑張ったことは自信に繋がっています。
岡田…「努力は報われる」と言いますが、頑張りがすべて報われるのではなく、報われるまでするのが努力だと思います。

小林…努力した過程ではなく、結果を出して初めて評価される。結果を出してこそ努力と言えと思っています。
岡田…部員全員が厳しい練習を経て結束が強くなり、結果が出るようになりました。みんなでここまでこられたことはすごく幸せ。自分にとって大切なものです。
小林…中学のとき先輩たちの中に自分になりたい姿を見つけて頑張ったこと、自分もそんな先輩になりたいです。
横井…ここで頑張ったこと、キツイ練習をやり遂げて試合に勝った経験は社会に出てからも力になると思います。
小林…人生をかけて熱くなれるものがあるのは幸せなこと。部活を頑張ったことに胸を張れます。
現在の目標は関東大会。3人とも最上級生として、試合に向けて目を輝かせていました。

〒112-0014 東京都文京区関口3-8-1
☎03-39943-3051
最寄駅 / メトロ有楽町線「護国寺駅」徒歩8分。メトロ有楽町線「江戸川橋駅」徒歩10分。メトロ副都心線「雑司が谷駅」徒歩16分。JR「目白駅」から都営バス「ホテル椿山荘東京前」徒歩1分ほか。

成城中学校

男子校

初心者から経験者まで、
多くの部員が仲良く活動しています。
4年連続都大会出場中！目指すは東京都ベスト4！

多くの練習・試合を経験し、
ひと回りもふた回りも大きな男子に成長

成城中学校は創立以来、「社会に有為な人材を育成する」という建学の精神が受け継がれてきました。目指す生徒像は、校章「三光星」が象徴している「知・仁・勇」を備えた男子リーダーです。文武両道をうたい、運動部12、文化部12、同好



新宿・渋谷・目黒の3区合同でトーナメントを行い、上位2校が都大会に進む。地区予選は秋夏合わせて3連覇中！



チームメイトの活躍はみんな自分のことのように喜び！

会8と部活動が盛んで、ほとんどの生徒が部活動に入って文武両道の実践に励んでいます。

中学野球部は、中1中2合わせて50名。入学以前の野球経験有無の比率は半々くらいですが、部員のレベルに合わせて充実した練習を行い、全員が試合で活躍できるほど上達していきます。先輩後輩分け隔てなく、とても和気あいあい

とした雰囲気、切磋琢磨しています。野球の技術はもちろんですが、豊かな人間性の育成を大事にしています。謙虚な姿勢と感謝の気持ちを持って、目の前のことに一生懸命取り組むことが、大学受験を含め今後の人生の指針となります。

日曜・祝日は、東京・埼玉などの強豪校と練習試合を行い、実戦経験も豊富に積むことができます。試合後は自分たちでミーティングを行い、課題をチームで共有して練習に還元することで、自主性が育まれます。

中学校の大会である「中体連秋季大会（10月）」と「中体連選手権大会（7月）」の地区予選を勝ち抜き、都大会出場、さらに東京都ベスト4を目指しています。また、クラブチームの大会にも参加するなど、数多くの活躍の舞台があります。クラブチームの大会は1団体複数チーム登録可能なので、全員が公式戦のメンバーになることができますのも魅力です。

充実した新潟夏合宿
夏休みは、新チーム最初の「秋季大会」に向けて、他区のローカル大会に複数参加するなど、いつも以上に熱を入れて活動しています。8月中旬には、新潟県南魚沼市で3泊4日の合宿を行います。広大な野球場でみっちりとした練習を行うことで、野球の技術やチームの戦術

の成熟を図ります。また、4日間集団生活を行うことで、「自分一人ですべて生活しているわけではなく、周りのために動かないといけない」ということを学ぶことができます。宿での食事事も南魚沼産のコシヒカリが食べ放題。心も体もひと回り大きくなり、合宿後の試合は見違えるような動きを見せます。

〒162-8670 東京都新宿区原町3-87
☎03-3341-6141
最寄駅／都営大江戸線「牛込柳町駅」徒歩1分、都営大江戸線「若松河田駅」徒歩6分、メトロ東西線「早稲田駅」徒歩12分、都営新宿線「曙橋駅」徒歩13分。

INFORMATION

- 学校見学会 **※要予約**
5月30日(土)、6月20日(土)
- 学校説明会 **※要予約**
9月26日(土)、
10月17日(土)、28日(水)
11月4日(水)、28日(土)
1月9日(土)
- 文化祭
9月12日(土)、13日(日)

※予約・詳細は学校HP
[学校HP]
<https://www.seijogakko.ed.jp/>



毎年8月、新潟県南魚沼市で3泊4日で行われる合宿では、野球の技術はもちろん、チームワークや規律意識も高まる

大妻多摩中学校

女子校

全員初心者だから全員同じ！

部のモットーは「社会でレギュラーになる」

目指すはリーグ戦の優勝、都大会での勝利！

部活動を通じた経験も

未来に活躍できる女性の育成に貢献

大妻多摩中学高等学校では「わたしの力を、未来のために」をモットーに、キャリアを通して社会で活躍・貢献出来る女性の育成に取り組んでいます。予測困難な未来社会の中で活躍・貢献する女性の育成を教育目標に掲げ、適性に応じたキャリアを通して、経済的・社会的・人間的自立を達成する女性の育成を目指しています。10ヘクタールを超える自然豊

大妻多摩・バレーボール部 活動の様子



バレーボール部での活動は週に4回。リーグ戦での優勝、都大会での勝利を目指して練習に取り組む



試合前に円陣を組む様子。部員同士声をかけあうことで、チーム力を育む



試合後にもらった表彰状を携えての記念撮影。2025年度は思ったような成績が出せなかったが、課題を共有し、今年度も勝利に向けて練習中

INFORMATION

- 学校説明会 (全学年対象) ※要予約
 - 5月 9日 (土) 14:30~15:30
 - 8月 22日 (土) 17:00~18:10
 - 10月 10日 (土) 14:30~15:30
- オープンスクール (全学年対象) ※要予約
 - 6月 13日 (土) 10:00~11:15
- 生徒主催学校説明会 (全学年対象) ※要予約
 - 7月 18日 (土) 14:30~15:15
- 入試説明会 ※要予約
 - 帰国生・6年生対象: 7月 25日 (土) 10:00~11:15
 - 2科/4科・6年生対象: 10月 17日 (土) 14:30~15:30
- 実話怪談会/ミニ学校説明会 (全学年対象) ※要予約
 - 8月 11日 (火・祝)
 - 説明会: 15:30~16:30 怪談会: 17:10~18:40

*予約、詳細は学校HP

[学校HP] <https://www.otsuma-tama.ed.jp/>

かな敷地の中、女子校としては珍しくグラウンド・体育館がそれぞれ3つある環境の中、運動部が11、文化部が12、同好会が2あり、中学では80%以上、高校生でも70%以上が部活動に所属しています。

大妻多摩のバレーボール部は、基本的にはほぼ全員が初心者であるため、同じスタートラインで活動を開始します。全員がチームのレギュラーを目指して練習に励み、高校に進学した後はリーグ戦の優勝及び、都大会で勝つことを目標に活動しています。

他校との試合を通して技術の達成度を確認できると同時に、多くの刺激をお互いに与え合うという利点もあります。自分達だけでは見えなかった課題や問題点を見いだし、全体で共有して次の目標を設定するという好循環が生まれます。

チームワーク力をつけるための努力とチームのモットー

バレーボールはチーム競技であるため、全員が同じ目標に向かって進んでいくことに意味があります。その中で特に心がけていることは「声かけ」です。チームワーク力が試される競技であるため、自分の考えていることや周りへの指示が伝わり、全員での意思統一を図ることが重

要です。

運動部なので当然試合に勝利することが目標になりますが、大妻多摩では部活動を通して生徒の自立・自律を促進することも考えています。バレーボール部のモットーは「社会でレギュラーになる」ことなので、競技活動の充実とその結果を追求することはもちろん、部活動を通して礼儀や協調性、課題を解決する力や目標達成に向けて努力を続ける力などを養い、「社会でレギュラー」として活躍できる人材になれるよう活動しています。昨年度の結果は春季大会予選2位、新人選手権大会予選2位と実力を思うように発揮できず悔しい結果となりました。そこで出た課題をチームで共有し、練習の中で修正しながらさらに強くなる練習をしています。

瀧野川女子学園中学校

★女子校

充実した施設環境のもと、生徒たちがいきいきと活動する瀧野川女子学園中学校。バスケットボール部と茶道部の魅力を取材しました。

◆バスケットボール部

同校では、元日本体育大学バスケットボール部レギュラーの長谷川先生が4年前から顧問を務めています。練習では、基礎を大切に、応用、ミニゲームへと段階的に発展。「運動好きな生徒が多いですね。負けず嫌いな一面もありますが、初心者部員には優しく教えるなど、メリハリのあるチームです」と長谷川先生。大会での3回戦進出を目標に、日々練習を重ねています。



バスケットボール部のみなさん。高校生の部員と斉藤先生(左端)、長谷川先生(右端)

真剣な眼差しでゴールを狙います



練習の最後に行うミニゲームは白熱します！

中学1年から高校2年まで継続して活動している部員は、「基礎練習の後、先生も交えて試合をする時間が楽しいです。週5日の活動ですが、勉強と両立できるよう時間の使い方を工夫しています」と話してくれました。「新しいことに挑戦したい」と、高校からバスケットボール部へ入部した生徒は、部長としてチームをまとめるまでに成長。「試合の結果も大切ですが、みんなで体を動かし、笑い合える時間も大事にしています」と、充実した部活動の様子を語ってくれました。

◆茶道部

同校では、礼法・茶道・華道を6年間の必修科目として取り入れていています。茶道は、江戸千家のコーチ・本間尚子先生が10年前から授業と部活動の指導を担当。週3回の活動では、約40畳の和室と専用の茶室という恵まれた環境の中で、お茶を点てる一連の作法であるお点前おちまへの技術だけでなく、「一期一会」の精神や礼節を学びます。本間先生は、「グローバル教育に力を入れる本校の生徒だからこそ、海外でも自信をもって日本文化について語れるようになってほしい。茶道がそのきっかけになれば」と話します。



笑顔が素敵な茶道部のみなさんと本間尚子コーチ(中央)

8畳の専用の茶室



部員からは、「それまで以上に心を込めてあいさつをするようになりました」という声も聞かれ、日々の変化として成果が表れています。先輩と後輩の垣根なく教え合う風土は同校ならではの。生徒たちは、「かしまっていいなくて、楽しくお茶を楽しめる」「和菓子がおいしい！」と笑顔で話してくれました。



約40畳のきれいな和室で一つひとつの所作を落ち着いて実践。授業では、画面(中央上)に資料を映し出します。

〒114-0016 東京都北区上中里1丁目27-7
 ☎03-3910-6315
 最寄駅/JR京浜東北線「上中里駅」徒歩2分。メトロ南北線「西ヶ原駅」徒歩8分。JR・メトロ南北線「駒込駅」徒歩12分。

INFORMATION

- 説明会 ※要予約
 - 5月23日(土) 学校説明会 & 授業体験会
 - 6月20日(土) 学校説明会 & 授業体験会
 - 7月4日(土) 学校説明会 & 授業体験会
- オープンスクール ※要予約
 - 6月6日(土) 6月のオープンスクール
 - 8月1日(土) 夏のオープンスクール
 - 8月2日(日) 夏のオープンスクール
- 学園祭 ※要予約
 - 9月20日(日) あかつき祭
 - 9月21日(月・祝) あかつき祭

[学校HP] <https://www.takinogawa.ed.jp/>
 [詳しくはこちら] https://www.takinogawa.ed.jp/admission_events.html

東京家政大学附属女子中学校

女子校

〒173・8602 東京都板橋区加賀1・18・1
☎03・39961・0748

最寄駅/JR埼京線「十条駅」徒歩5分。都営三田線「新板橋駅」徒歩12分。
JR京浜東北線「東十条駅」徒歩13分。東武東上線「下板橋駅」徒歩15分。JRなど「王子駅」からバス8分「区境」徒歩1分。

活動を通して思いやりをかたちにする中学調理部と探究的に取り組む高校食物研究部は週2日活動。オープンスクールや文化祭などの行事でも活躍しています。

生徒自身の思いやりをかたちに

東京家政大学附属女子中学校の調理部と同等学校の食物研究部は、ともに家政大学附属という同校の特色や環境を生かした伝統的なクラブです。今回は調理部と食物研究部の生徒と顧問の先生にお話を伺いました。

調理部は、毎年3学年で40人前後の生徒が在籍。週2日、基本の調理やお菓子作りなどを行うほか、思いやりをかたちにして伝えることを大切に、活動しています。部長のH・Sさんは「私は受験生の時に当時の先輩から手作りのクッキー

調理部部長のH.S.さん
食物研究部部長のY.K.さん



活動の様子

と温かい励ましの言葉をいただいたことが強く心に残っており、その経験から私も調理部に入りたいと思い、この学校を受験しました」と教えてくれました。副部長のY・Kさんは「受験に向けて不安な気持ちを少しでも和らげてあげたいという思いで、クッキー作りに臨んでいます」と話します。

取材日は高校への進学にプレゼントする「チョコスマアクッキー」を制作。できあがったクッキーは一人ひとりに宛てた色紙とともに手渡されました。顧問の鮫島奈津子先生は、「こうしたイベント

手配に説明会
クッキー作
学校配布



チョコスマアクッキーと色紙



は生徒が主体となり計画し、内容を考えながらつくりあげています。先輩、後輩、仲間に対しての思いやりや、一緒に考え努力する姿勢など、「愛情・勤勉・聡明」の生活信条を大切にしながら活動しています」と話してくれました。

活動を通して発揮される探究の姿勢

一方、高校の食物研究部は探究・研究の要素を強め、より専門的な活動を行います。家政大学の附属ならではの専門性を学んで、自己実現を果たす卒業生も多く、入部希望者も多い人気の部です。「毎年恒例になっているイベントとしては、『米粉』のクッキーコンテストがあります。小麦粉とは違った特性で、配分など工夫が必要な中で、生徒たちは試行錯誤しながら、オリジナルのレシピを開発します。既存のレシピどおりに調理するだけでなく、



左から高校調理部のM.I.さん(会計)、A.Y.さん(部長)、S.S.さん(会計)



「米粉」のクッキーコンテスト入賞作品を掲載したレシピ集

INFORMATION

- ミニ学校説明会 **※要予約**
5月2日(土)・5月9日(土)・6月13日(土) 全日10:00~
※授業見学を実施
- オープンスクール **※要予約**
第1回 5月30日(土) 14:00~
第2回 7月19日(日) 10:00~
第3回 7月20日(月・祝) 10:00~
- 学校説明会 **※要予約**
第1回 6月27日(土) 14:00~
※スクールランチ体験(有料)を実施

※詳細は学校HPでご確認ください
[学校HP]
<https://www.tokyo-kasei.ed.jp/>

探究的に食物に向き合うことを大切に活動しています」と話すのは同校教頭でもある針生貞子先生。部長のA・Yさんは「緑苑祭では高1で焼菓子やマフィン、高2ではパンを作って販売しました。準備期間中は大変でしたが、中学調理部ではできない販売までを担え、達成感を味わえました」と活動の様子を教えてくださいました。部では、それぞれが設定したテーマについて研究を進めることも応援しており、年によっては生徒がチームを組んで研究論文を作成し、コンテストに応募することもあるのだそう。思いやりと探究心あふれる生徒たちがいる同校に足を運んでみてはいかがでしょうか。



緑苑祭(文化祭)で製造・販売したパンは長蛇の列に

共立女子第二中学校

女子校

広々としたグラウンドを舞台に、思い切りプレイする共立女子第二のソフトボール部。チームプレイを通じて「人としての成長」を楽しく学んでいます。

「人」として成長できる
かけがえのない体験を

共立女子第二中高のソフトボール部では、「勝ち負けより大切なのは、取り組む姿勢。人としてのあり方を学ぶ」(監督・石井学先生)ことをモットーに、中高約20人の部員がグラウンドで元気にボールを追いかけています。

「春は校内の施設、夏は群馬県で合宿。1年を通して大会は5つあり、2025年秋の東京都新人戦ではベスト16を達成しました。卒業したOGも練習や試合にはよく顔を出してくれて、みんながファミリーのような雰囲気です」(石井先生)



監督の石井先生・顧問の小平先生(写真中央右・左)を中心に、明るく元気にソフトボールを楽しむ



左から、S・Hさん(高3・部長)、M・Yさん(高3・キャプテン)、A・Yさん(高3・副キャプテン)。はつらつとした明るい笑顔が印象的

東京都の中高のソフトボール部では、他校の生徒を研修会で指導し合ったりする文化があるそうです。「自分の学校だけが強くなれば良い」というのではなく、「みんなと一緒にレベルアップしていこう」というカルチャーが根づいています」(石井先生)

広々と充実したグラウンドでプレイ

部員のほとんどが未経験から入部しますが、最初はキャッチボールやルールを覚えるところからスタート。中学ではソフトボールの楽しさを覚え、高校ではスキルアップを目指します。

中学からソフトボールをやっていたというのがキャプテンのM・Yさん(高3)



練習では和気あいあいとしていても、試合では真剣に力を出し切る



トラックの左奥がグラウンド

と副キャプテンのA・Yさん(高3)です。2人はいずれも「学校の広いグラウンドでソフトボールができる」ことに魅力を感じて同校に入学しました。

一方部長を務めるS・Hさん(高3)は高1の冬に未経験から入部。「先輩がとても温かく迎えてくれて、実際にプレイしてみるとソフトボールもとても楽しかったので入部を決めました」(S・Hさん)と言います。

先輩後輩の垣根を超えて全員が仲間として一丸でプレイ

キャッチャーとしてチームの司令塔でもあるM・Yさんは、「ピッチャーとの意思疎通がうまくいき、バッターをアウトにできた瞬間が最高です」と、やりがいと楽しさを語ります。

「私が以前に所属していたチームは上下

〒193・8666 東京都八王子市元八王子町1-710
☎042・991・0962
最寄駅/スウルバス・JR中央線・京王高尾線「高尾駅」から15分(乗場までの徒歩を含む)、JR中央線高尾線横浜線「八王子駅」から20分。
「みなみ野・七国循環ルート」もあり。

INFORMATION

※体育大会以外は要予約

■理科体験授業＋中学校説明会
5月16日(土) 14:00~15:30

■体育大会 5月30日(土) 9:00~15:00
※ミニ説明会実施 ※要予約

■中学校説明会 6月13日(土) 14:00~15:30

■中学オープンキャンパス
7月19日(日) 9:00~12:10

■ナイト学校説明会
7月24日(金) 18:00~19:30

■中学キャンパス見学会/理科体験授業
8月1日(土) 10:00~11:30/14:00~15:30

※詳細は学校HP

【学校HP】<https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/nichukou/>

関係が厳しかったのですが、ここでは先輩後輩の距離が近いのも魅力です。先輩の姿を見て、自分が先輩にどう接したらいいのかを学びました」と、A・Yさん。練習は週5日、日曜日は試合をする。ことが多いなど忙しい毎日ですが、勉強との両立もがんばっています。「忙しいからこそ時間を効率的に使って勉強しようと、メリハリがつけられます。ソフトボールをやっているほうが、勉強がはかどりますね」(A・Yさん)。「今年には受験なのでクラブの後は毎日塾に通って、対策しています」(S・Hさん)。オープンキャンパスではクラブ体験も実施。「ぜひ遊びに来て体験してみてください。きつと楽しいですよ」(3人)

三輪田学園中学校



三輪田学園の個性あふれるクラブ活動は、仲間との友情を育み、ともに学び成長する、かけがえのない経験の場です。

【箏曲クラブ】



文化祭や校内音楽会では大勢の方の前で日ごろの練習の成果を発表します

箏曲クラブは部員数が中高合わせて16名、毎週火曜日と木曜日に学内の和室「虚心亭」で活動をしています。
私たちは、日本の伝統楽器である「お箏」を弾く「山田流」のクラブです。学年ごとにコーチの先生方と日々練習し、文化祭など年に3回ほど発表の場があります。演奏曲は、古典曲から箏曲部を題材とした漫画の作曲までと幅広いです。部員のほぼ全員が初心者で入部し、

コーチの先生方に一から丁寧にご指導いただきます。

堅苦しいイメージがあると思いますが、ミニクリスマス会を行うなど、アットホームで学年を問わず仲が良いです。お箏の音色は弾き手の心を映し出し、仲間との合奏の楽しさを体感できます。伝統を大切に、和気あいあいと活動中です。

【バレーボールクラブ】



冷暖房完備の体育館で、先生の指導のもと、のびのびとプレーができます

バレーボールクラブには、中高合わせて約30名が所属しています。週4回体育

館で活動しており、多くの部員が初心者で入部しているため、同じペースで練習でき、安心です。
中1では先生や先輩に基礎を教えてもらいながら2月の大会に向けて練習に励みます。中2以上は基礎練習に加え、大会に向けて先輩とゲーム練習を行い、試合形式に慣れていきます。学年が上がることによってできることが増え、バレーボールがより楽しくなります。
夏休みには山梨で4泊5日の合宿があり、1日中バレーボールに集中できます。合宿では、一人ひとりが自身の課題を見つけ、克服していきます。中高一緒に練習するので、先輩との仲も深まります。OGの方も指導に来てくださいます。

演劇クラブ



人前で話す度胸をつけたい人、モノづくりに没頭したい人、大歓迎です

【演劇クラブ】

「演劇クラブって、演技をする人たちの集まり」だと思っていませんか？ 私たちの活動は、役者だけでなく成り立つものではありません。

演劇クラブは中高合わせて約25名、プロの俳優がコーチとしていらつしやり、週3回の活動で年3回の公演に全力を注いでいます。部員のほと

んどが初心者で入部します。まずは全員で「裏方の仕事」を経験し、照明のタイミング、世界観を支える音響、衣装制作など舞台の仕組みを知ること、演劇の本当の面白さを学びます。

25名それぞれに、自分に合った「輝き方」があるのがこのクラブの魅力です。夏には合宿があり、公演練習以外にもみんなで花火や焼肉も楽しめます！週3回の活動なので、勉強との両立も無理なくこなせます。

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-3-15
☎03-32263-7801
最寄駅 / メトロ有楽町線など「市ヶ谷駅」徒歩6分。JRなど「市ヶ谷駅」徒歩7分。JR・メトロ南北線有楽町線「飯田橋駅」徒歩8分ほか。メトロ半蔵門線など「九段下駅」徒歩15分。

INFORMATION

- 学校説明会 (全学年対象) ※要予約
 - 6月13日(土) 10:00~11:10
 - 7月25日(土) 13:30~14:40、帰国生説明会 15:00~15:30
 - 9月19日(土) 10:15~11:30
- 生徒主催学校説明会Week (4年生以上対象) ※要予約
 - 8月17日(月)~22日(土) 10:00~12:00
- オープンスクール (4年生以上対象) ※要予約
 - 6月27日(土) 13:45~16:00
 - 10月31日(土) 13:45~16:00

*ご予約・最新情報は学校HP

[学校HP] <https://www.miwada.ac.jp>

白梅学園清修中学校



白梅学園清修中学校の鉄道模型デザイン班が、ドイツでの世界大会で最優秀賞受賞。制作した16期生、高校生活最後の舞台を追いました。

世界一に輝いた鉄道模型デザイン班

白梅学園清修中高一貫部の鉄道模型デザイン班は、国内大会「全国高等学校鉄道模型コンテスト2025」で主要2部門の最優秀賞を2年連続で受賞。その副賞として臨んだ世界大会「ヨーロッパNスケール コンベンション」でも最優秀賞に輝き、「世界一」の栄冠を手に入れました。作品「愛され続ける日光軌道」を手がけたのは、16期生の吉本実冬さん、青尾咲季さん、山田珠綺さん、岡村のどかさん。世界大会は4人にとって、高校生活最後の舞台でした。



左から、岡村さん、青尾さん、吉本さん、山田さん

国際的な交流で広がった4人の視野

世界大会はドイツ・シュトゥットガルトで行われました。13か国24団体が集い、清修以外は大人ばかり。時間・費用を惜しまずに創り上げられた力作の数々に、4人は圧倒されたといいます。海外の作品には、自分たちが楽しむだけでなく、観客を楽しませる工夫も多く、素材や表現方法の違いも刺激となりました。日本から来た、しかも10代の女子たちは会場で珍しがられました。4人はプレゼンの場だけでなく、英語で来場者と積極的に交流を重ねました。授賞式では、他チームの作品レベルが非常に高かったため、最優秀賞と聞いても、しばらく実感が湧かなかったそうです。最終日にはワークショップに挑み、ドイツの子どもたちと一緒に鉄道模型で触れ合ったことも貴重な思い出となりました。



鉄道模型の先に続く未来

国際大会に出場し、世界一という大きな経験をした4人は、鉄道模型デザイン班で得た学びを、それぞれの進路へつなげようとしています。部長の吉本実冬さんは、大会で様々な国の人と接し、言葉の大切さを実感、言語学を学びたいと考えるようになりました。副部長の青尾咲季さんは、約40人が所属する班で、企画・制作・プレゼンに携わるうちに、マネジメントへの関心をもつようになりました。岡村のどかさんは、多様な人と関わった経験を、将来は医療の現場に生かしたいと話します。山田珠綺さんは進行管理を担い、制作全体を支えていましたが、これからも何らかのものづくりに携わっていきたいと考えています。



岡村のどかさん



吉本実冬さん



山田珠綺さん



青尾咲季さん

鉄道模型が人を育て、伝統を紡ぐ

班の創設者で顧問の中澤亜紀先生は、「大切にしているのは、人への思いやりです。模型づくりや人との関わりを通して、チームワークや感謝の気持ちを育んでほしい」と話します。そして、「清修に入ったからこそできる経験をしてほしい」と常に思っているそうです。先生の思い、先輩たちの経験が伝統となり、また次の世代へと受け継がれていきます。



鉄道模型デザイン班の創設者で顧問の中澤亜紀先生

〒187-8570 東京都小平市小川町1-830
☎042-346-5129
最寄駅／西武国分寺線「鷹の台駅」徒歩13分。JR武蔵野線「新小平駅」自
転車10分。JR中央線・西武国分寺線「多摩湖線」国分寺駅 から西
武バス20分「白梅学園前」ほか。

INFORMATION

■第2回学校説明会
5月9日(土) 14:00~16:00

■第3回学校説明会
5月31日(日) 10:00~12:00

■前期入試説明会
6月21日(日) 10:00~12:00

■授業見学会&ミニ説明会②
3年生セブ島研修報告会
7月11日(土) 10:00~12:45

■Seishu Mini Festa
7月26日(日) 10:00~12:00

[学校HP] <https://seishu.shiraume.ac.jp/>

玉川学園中学部

共学校

充実した施設環境に加え専門家による指導も。学年の垣根を越えた仲間と高め合いながら活動を行う生徒さんにクラブの魅力を感じました。

音楽の楽しさを感じながら練習に取り組んでいます

仲間と音を紡ぎ、本当の音楽の楽しさを感じられるのが玉川学園吹奏楽部の特徴です。小学6年生から高校3年生までが在籍していますが、学年を意識することなく音楽をつくり上げる仲間として、時に励まし合い、時にライバルとして互いに高め合いながら活動しています。

入部時は楽器初心者も多くいますが、先生や先輩が丁寧に教えてくれるので安心です。さらに、プロ奏者による指導を受けることもでき、向上心を持ちながらレベルの高い演奏を目指せます。そのお

吹奏楽部



かけもあり、近年は中高ともにコンクールや大会で賞をいただいています。また

昨年は定期演奏会に加え、老人ホームや地域の子どもたちに向けたコンサートや部員で企画。多くの方に音楽の楽しさを届けることができ、音楽を通して人とつながる喜びを実感しました。

昨年はブラジル遠征も応援されるチームを目指し活動中

サッカー部



昨夏は、長年学園と交流のあるブラジルの松柏・大志万学院で研修を行いました。現地コーチによる指導やスタジアムでの試合観戦など、本場のサッカーに触れるとともに、文化の違いを肌で感じる

貴重な経験となりました。

定期的に行う中高合同練習では、お互い刺激を受けながら切磋琢磨しています。昨年は中学部が初めて都大会に出場しベスト16に。今年は中高ともにさらに上を目指し、1試合1試合しっかり勝ちを積み重ねていきたいです。練習は全人工芝の「記念グラウンド」で行っています。また、専門の方からの指導もあり、充実した施設とスタッフの中、サッカーに打ち込むことができます。

やはり試合中の応援は私たちの大きな力になります。『応援される人に、応援されるチームに』をモットーに、より多くの人に試合を見に来てもらえるよう、校内の清掃など皆に喜んでもらえる活動も自分たちで考え主体的に行っています。

息の合ったダイナミックな演技をぜひ見に来てください！

普段は小学6年生から中学2年生、中学3年生から高校3年生に分かれて活動しています。週1回の合同練習に加え、7月後半からは10月に開催される体育祭に向けて中高大で一緒に練習を行っています。大学生との練習は少し緊張しますが、難易度の高い技を間近で見ることができると、丁寧な指導やフォローをしてくださるため、和気あいあいとした雰囲気の中で高いモチベーションを保ちながら

〒194・8610 東京都町田市玉川学園6・1・1
☎042・739・8931
最寄駅「小田急小田原線「玉川学園前駅」徒歩15分。東急田園都市線「青葉台駅」から東急バス20分「奈良北団地」徒歩10分。

INFORMATION

■ オープンスクール

※要Web予約

5月16日(土)・7月11日(土)

9:30~11:30

9月5日(土) 9:30~12:00

その他の説明会や学校行事は学校HPを参照して下さい。



学校HP



中学部Instagram

デンマーク体操部



練習に取り組んでいます。

練習を重ねる中で新しい技ができるようになったり、仲間と息を合わせて演技を披露したりと、個人としての成長とチームで表現する楽しさの両方を味わえることがクラブの魅力です。3月の玉川学園展では、部員同士で構成を考えた演技を披露しています。ぜひ私たちの練習の成果を見に来てください。

日本大学第二中学校・高等学校

共学校



〒167-0032 東京都杉並区天沼1-45-33
 ☎03-3391-0223
 最寄駅 / JR中央線 総武線 茗荷谷駅、JR中央線 総武線 阿佐ヶ谷駅 徒歩15分、西武新宿線 下井草駅 徒歩20分、「茗荷谷駅」西武線「茗荷谷駅」からバス「日大二高前」ほか。

充実した環境と多様な部活動で、育つ自主性。
 「負けた試合にこそ学びがある」
 対話を大事にチーム力を高める女子バレー部！



部活動の活発な学校としても知られています。甲子園を目指している高校の硬式野球部、全国大会に出場したチアダンス部など活発な部活もある一方で、釣り部や写真部、ワンダーフォーゲル部など、興味や趣味を深めたいと週1〜月1回の活動の部活もあり、十人十色の楽しみ方ができます。

■女子バレー部

その中でも、今回は中学の女子バレー部に伺いました。アニメの人気などもあり注目の高まっているバレーボール。日大二校には中学は女子のみ、高校は男女共にバレーボール部があります。

「人工芝グラウンド、芸術や理科それぞれの専門校舎など、この学校には豊富な設備と多様な部活動があります。多くの機会がある学校、それが日大二校なのです。スポーツ推薦はないので、部活動もみんな一緒のスタート。部活動は、自主的な活動を通じて、生徒たちの個性を伸ばさせてくれるのだと捉えています」と、高等学校校長の中島正生先生。



東京・杉並にありながらも、4万㎡を超える広大な敷地には、他にも武道館やプール、テニスコートなどの設備が充実。さらに23の運動部に19の文化部があり、

こそバレーボールの魅力に気づくことができると言います。

鈴木先生「サッカーは、1試合しても点が入らないこともあります。バレーボールの面白さは絶対に点が入ること。そして、失点も必ずあることです。だからこそ試合の中で気づいて、自分たちで立て直さないとはいけません」

中山先生「個人競技の水泳では失敗も自分の責任でした。しかしバレーは団体競技だからこそ、自分や仲間が調子が悪くても、互いにカバーし合えます。ボールは1人で続けてタッチできず、つなげるしかないからこそ、コミュニケーションや瞬時の判断が必要になります。初めはクラスも学年も異なる子同士だったのが、意見がぶつかりながらも話し合っていく中で、どんどん人

間関係が深くくなっているのを感じます」

練習の進め方などは先生が指示を出すものの、練習の主体は生徒たち。部長、副部長、キャプテンの3人を中心に声を掛け合い、問題があれば練習中や終了後に積極的に話し合うチームができています。

中山先生「人数が決まっているので、全員が試合には出られません。それでも、応援の子も、試合に出る子も、互いに良い影響を与えていますね」
 やらされている練習ではなく、自分たちがもつと上達したい、チームとしてよくなりたい、という強い気持ちでまとまっている女子バレー部。まさに自主性を重んじる日大二校の精神が体现されています。

鈴木先生「部活で学ぶのはスキルだけでなく、先輩後輩の関係、挨拶や礼儀、コミュニケーションなどここでしか得られない経験も大事にしてほしいです」

「1人1人のプレーの強みが違うのが、このチームのいいところ！問題があったら、すぐに話し合います。コミュニケーションを大事に、下級生をも意見が出しやすいように雰囲気作りや、自分たちでどうやったら上手くできるのかが話し合いながら自分たちで目標を立てています」

「練習試合で負けたら、それが学びのチャンス。先生が撮ってくれた試合動画を見返して、自分たちの改善点や相手チームのいいところを分析し、意見を交換しています。反省を生かして、次に勝ちたいという気持ちになります！」



部長のT.H.さん
 副部長のM.H.さん
 ゲームキャプテンのT.S.さん

バレー部の3人に聞きました!

INFORMATION	
■ 学校説明会	※要予約
6月20日(土)、7月25日(土)、8月1日(土)、8月8日(土)、9月26日(土)、11月14日(土)	
■ 中学公開授業	9月12日(土)
■ 体育大会	10月3日(土) ※一般公開あり
■ 銀杏祭(文化祭)	11月7日(土)、8日(日)
※ミニ学校説明会実施予定(予約不要)	
[学校HP] https://www.nichidai2.ac.jp	

明治学院中学校

共学校

丘陵地帯の里山の生態系を学べるビオトープ。自然科学部は、その管理・植生・生き物調査をはじめ、自ら興味を持ったテーマに挑んでいる。部員の皆さんに話を伺った。

多彩な生き物や植物が集まる自慢のビオトープ

「キリスト教に基づく人格形成」が教育理念の明治学院中学校。近くには狭山・多摩両丘陵があり、緑あふれるキャンパスは5万6000㎡と広大です。さらにその中にあるビオトープは、理科の授業や自然科学部の活動の場として季節ごと様々な表情を見せてくれます。

自然科学部の顧問・吉田理美先生に活



ビオトープには2つの池や小川がある。また珍しい植物を集めた一角や小さな畑も。多種多様な生き物や植物たちが生息していて、小さい施設ながらも大きな自然を形成している。

動について伺いました。

「活動は週4日、月曜と火曜、金曜と土曜です。現在部員は中学生を中心に7名で主な活動は月1でビオトープの植物調査や水質調査のほか、一人ひとり自身で課題を見つけて研究や実験などを行っています。ちなみに、ビオトープですが、生き物も多彩で水生昆虫やアズマヒキガエル、タヌキ、ハクビシンのほか今朝はサギがいるのを見ました。また、近々赤外線カメラを設置してどんな生き物が現れるか確認したいと考えています」

ビオトープでとれたという魚を水槽で飼育していますが、「じつは何の魚かはまだわかっていません。成長するまでみんなで観察します」という活動も。

一方フィールドワークや合宿で校外へ出ることもあり、活動も多岐に及んでいます。「自然科学部」という名の通り、自然と科学、両方取り組める部活です。「卒業生の中には年稿（地層）博物館の館長や介護ロボットを開発する会社を起業した方、今年度から理科の教員として本校に戻ってくる方もいます」

自然科学部での活動が後の進路につながっているようです。



自身が作った空気砲やリースなど、自然科学部由来のものをそれぞれ手にして…(左から)鈴木さん、北原さん、肥沼さん、千代田さん、立川さん。

虫が苦手でも大丈夫！
虫の生き方にも感動できます

中2の北原朋美さん、千代田陽さん、鈴木佐和さん、立川友唯さん、高1の肥沼愛莉さんにお話を聞きました。

まず、入部理由について伺うと、「自然や動物が好きだったからです」(北原さん)、「学習との両立ができる部活を探していました」(千代田さん)、「スライムが好きでスライムが思う存分作れそうな部活だったので」(立川さん)、「見学した時、先輩後輩の仲が良さそうなのを見て憧れました」(鈴木さん)、「もともと文系でしたが、見学に来た時に実験が楽しそうだったからです」(肥沼さん)とみなさんそれぞれ。

また「じつは虫が苦手」という部員も何名かいて、「ビオトープで虫を見つけ

〒189・0024 東京都東村山市富士見町1・12・3
☎042・391・2142
最寄駅／西武拝島線「国分寺線」小川駅 徒歩10分。JR武蔵野線「新小平駅」徒歩25分。

INFORMATION

- 学校説明会 **※要予約**
5月23日(土)、9月19日(土)、10月17日(土)
各14:00~
- 11月11日(水) 10:00~
12月5日(土) 10:00~、14:00~
1月9日(土) 10:00~
- オープンキャンパス **※要予約**
6月13日(土) (小学生・中学生対象)
- クラブ体験会 **※要予約**
11月21日(土) (小学生対象)
- 体育祭 **※要予約** 10月3日(土)
- へボン祭(中学・高校文化祭) **※要予約**
11月3日(火・祝)

※詳細は学校HPをご覧ください。
【学校HP】 <https://www.meijigakuin-higashi.ed.jp>

ると今でも固まってしまっています。でも、それ以上に楽しんで活動しているの虫が苦手でも大丈夫ですよ」とのこと。一方、ビオトープ管理中に「夏休みに蚊に100か所以上刺されました。しかし、逆に1匹1匹強く生きているんだなと思いました」(千代田さん)というハプニングからの感動も。さらに、ビオトープでは野菜も育てているようで、「みんな畑を耕したりしたことも楽しかったです」と口を揃えます。

中には「自然科学部に入ってから自然にも目がいくようになり、スマホをいじる時間が少し減った」という部員も。クラブ体験会などのイベントでは、小学生と一緒に実験をする機会もあります。ぜひ参加してみてください！

※学年は3月取材時。

日本大学第二中学校

共学校

創る、探究する、表現する。多様な選択肢も魅力な日大三の部活動で、それぞれの「好き」を深めながら個性や感性を大きく伸ばす

鉄道研究部

コンテストやコンベンションに向けて、鉄道模型作りを行っています。中1から高3まで部員全員で協力して作っていくため、学年を超えた交流が活発です。中には部活の雰囲気に着かれて入部し、活動を続けるうちに鉄道や模型作りの楽しさに目覚めた生徒もいるほど部員同士の仲の良さが自慢です。

模型作りは細かい作業が多く大変な面もありますが、自分たちで考えて工夫を重ねていけることが醍醐味だと感じています。さらに、コンテストでは参加校が制作した模型をつなげてNゲージを走ら

部員の仲の良さなら負けません
文化祭では研究の成果をまとめた
部報を配布しています



せるので、完成した喜びだけでなく一体感も味わうことができます。

日大三中は豊かな自然に囲まれているため、四季を身近に感じることができま

写真部

文化祭では写真を使った
モザイクアートの展示や
オリジナルグッズの販売もしています



週2回の活動の中で撮影を行っています。月に1回部員同士で写真を評価し合う機会もあり、自分の感情やイメージを写真で表現できるよう技術を磨き合っています。毎年夏には撮影合宿もあり、昨年は日光を訪れました。満天の星空や雄大な滝など日常から離れた環境での撮影は新たな発見も多く、充実した時間を過

ごすことができました。また、合宿中に同室だった先輩から、特進クラスや勉強について教えていただき、自分の進路を考えるきっかけにもなりました。

茶道・華道部

校内にある作法室で、茶道と華道の両方を学べることが部活動の魅力です。生けた花は校内の各所に飾るとともに花の手入れも部員が毎日行っています。入試前には「応援花」として、受験生に向けた花を展示。実力を発揮できるように、リラクセスできるように、入試で桜が咲くようにと、思いを込めて生けています。

入部希望者大募集！
入部時は皆初心者。先生や先輩が
優しく教えてくださいませよ



〒194-0203 東京都町田市図師町11-2375
☎042-789-5535
最寄駅 / JR横浜線「小田原駅」からバス「日大三高入口」「日大三高東」ほか。登下校時、京王線など「多摩センター駅」「町田駅」「JR「淵野辺駅」から直行・急行バスあり。

茶道は文化祭でのお点前の披露に向けて所作を学んでいます。文化祭では浴衣を着てお客様をお迎えするため気を遣うことも多いですが、これまでの練習の成果を発揮できる場なので、気持ちも引き締め充実感があります。

茶道華道部は、日常にも生かせる美しい所作を身につけられます。活動は週2回のため、習い事との両立も可能です。

部活動体験も可能な「学校体験イベント」に参加しよう！

【開催日時(予定)】
7月19日(日)9:00~13:00(5・6年生対象)
9月20日(日)9:00~13:00(4~6年生対象)

- 授業体験と部活動体験に参加できるイベントです。日大三中生として過ごしながら学校の魅力を知ることができます。
- 部活動体験後には、食堂体験を予定しています。
- 講座の内容や持ち物、予約等については、学校HPをご覧ください。

INFORMATION

■学校説明会 ※要予約
6月20日(土) 13:45~15:00
詳細・予約、以降の説明会日程
は学校HPやSNSをチェック！



学校HP



X



LINE



Instagram

城北埼玉中学校

男子校

「文武両道」を旗印に、ほとんどの生徒たちが部活動をしながら自分らしさを追究しています。

「生物部」「化学部」「物理部」の理系3クラブを取材しました。

実験・体験授業が多く、理数教育に定評のある城北埼玉は施設も充実。生物・化学・物理の理系3クラブはそれぞれの実験室で、独立した活動を行っています。

生物部 生き物大好き！

部員数は中高合わせて約20名。普段は個人活動を中心に魚類、爬虫類、昆虫の飼育などを行っています。ケージの中で元気に動いていたのは、「しげおくん」と呼んで部員たちが大事に育てているフトアゴヒゲトカゲです。

部活動の見せ場である「けやき祭(文化祭)」では骨格標本の展示や、フトアゴヒゲトカゲ、魚やカメ、ザリガニの餌やりなど、飼育中の動物たちの「ふれあ

生物部



↑動物だけでなく、学校内のベジタブルガーデンでナス、キュウリ、大根など野菜も育てている。→フトアゴヒゲトカゲの餌は小松菜。「モリモリ食べて大きくなりました」



化学部



実験好きな生徒が多いのが特徴。昨年の「けやき祭」では展示教室に入りきれないほどの見物客が訪れ、部員たちも対応に追われて大忙しだった。

体験」を行って人気を集めました。「生き物が好きな部員たちの集まりだからこそ、『それぞれが愛情を持って飼育にあたること』で、生命倫理や生物との共存を考えることを大事にしています」(顧問の清水紀和先生)

化学部 実験大好き！

ほのかに魚の匂いが漂う化学実験室の片隅で、部員たちがピンセットを片手にアジの皮を剥く作業の真っ最中。スパーで買ってきたアジを冷凍し、皮を剥いた後に薬品で身を溶かして透明骨格標本を作るためです。皮剥ぎのコツは「集中と気合い」で、「1回やるともつと上手くなりたくて挑戦したくなります」。

物理部



今年の「けやき祭」では、「ピタゴラ装置を作ろう」という案が出ているそう。

現在の部員数は中学生のみ14名。写真部と共同で、鉄塩の化学反応を利用した青写真の制作にも挑戦中です。昨年の「けやき祭」では、肉球型バスのボムの手作り実験が好評で、2日間で約800人が訪れる大盛況でした。「身近で安価な材料を使った実験や研究を行っています」(顧問の振屋有志先生)。

物理部 なんでもできる！

部員数は12名。天体観測やロボット作り、各種工作など個々の生徒が「なんでもできる部活動」です。アマチュア無線をしている生徒、段ボールを使った歯車制作に取り組んでいる生徒、活動ボスターに使った「紫金山・アトラス彗星」の写真は部員が撮影したものでした。以前はモデルロケットの打ち上げ実験が文化祭の名物でしたが、「実験に使う外国製の火薬が入手困難」のため、現在は休止中。昨年の「けやき祭」ではソーラーバルーン(太陽熱で浮上させる熱気球の一種)に挑戦しました。顧問の大辻暁先生は「普段は個別の研究テーマに取り組みつつ、部員全体で取り組める新し

いテーマを模索中」と話します。**熱中するものを持ち、主体的に動く生徒たち**

多彩なレパートリーが揃う文化部は、活動日が週2〜3日であるため、理系3クラブの生徒たちの多くが兼部しています。「多趣味な生徒は自分のスケジュールに合わせて自由に出入りしています」と、理系3クラブ全てに所属している中2生。熱中するものを持っている生徒が多い。多様な価値観を持ち、主体的に動く生徒が多い。そんな城北埼玉の特徴が見えてきます。

男子校ならではのおおらかな空気があられるのも、理系3クラブの共通項。城北埼玉には、個々の目標に向かって頑張る生徒たちが居心地よくいられた空間があり、先生方が生徒たちのやる気を上手にサポートしているのです。

INFORMATION

■学校説明会 7月20日(月・祝)

※Web要予約

詳しくは学校HPでご確認ください。

[学校HP] <https://www.johokusaitama.ac.jp>

〒350・0014 埼玉県越前市古市場585・1
☎049・235・3222
最寄駅「JR川越線」南古谷駅・東武東上線「上福岡駅」徒歩25分ほか。
スクールバス「南古谷駅・東武東上線」ふじみ野駅、西武新宿線「本川越駅」からあり。

鎌倉学園中学校

男子校

「生徒目線」で学校の魅力を伝えていく鎌倉学園の生徒広報。鎌学の雰囲気により多くの受験生に知ってもらうために様々なイベントを開催しています。

生徒広報の歩みと今

2022年、生徒の熱い思いによって組織された鎌倉学園・生徒広報は、これまでに生徒目線という新たな視点から鎌学を知ることのできる「生徒による学校説明会」や、入学試験本番の雰囲気を体験できる「生徒による鎌学トライアルテスト」などのイベントを開催してきました。また、動画制作を通して鎌倉学園を



当初4人から始まった鎌倉学園・生徒広報のメンバー

2025年度は説明会のみならず、新たなイベントも実施し鎌学色溢れる開催となりました。前年度から好評の「生徒による学校説明会」に加え、実際の入学試験の雰囲気を体験できる「生徒による鎌学トライアルテスト」、そしてオープンスクールでの登壇と学校案内など、多くのイベントを開催し、それらに参加しました。2024年度は、入学した後、どのような授業が行われるのかという雰囲気を感じられる「生徒による授業体験会」を夏休みに開催しました。「文化祭や部活動は見たことがあるけど、肝心の授業ってどんな感じなんだろう?」とお思いの受験生や保護者の方に多数ご来場いただきました。

生徒広報のイベント

伝えていきます。生徒広報として活動をしていると、ありがたいことに受験生とその保護者様からご好評を頂く機会が多くあります。ゼロからイベントや作品を作り上げるということは非常に大変なことですが、「生徒の皆さんの対応やお話が素晴らしいと感じました」などのお声を聞くときに非常にやりがいを感じます。

「生徒による学校説明会」の様子



生徒による学校生活ネタを織り込んだ学校説明



生徒による鎌学トライアルテストの様子



来校した小学生との「対話式説明会」(写真上) お持ち帰りいただいた「受験体験記」(写真左)

鎌学ライフを最大限に楽しんでもらうために

我々生徒広報は、受験生とその保護者様に「鎌学ってこんな雰囲気なんだね」と知ってもらうため、「生徒目線」をキーワードに活動を行っております。学校や生徒の雰囲気を知らないで、受験に臨んでしまうと、せっかく合格したのに「自分にあつてはるかかわからない...」「思っていた学校の雰囲気と違うかもしれない...」という不安もあると思います。最初から全力で鎌学ライフを最大限楽しんでもらうためにイベントを開催しています。生徒だからこそ伝えられる鎌学ライフをぜひ体験してみてください!

INFORMATION

■学園祭

6月13日(土)、14日(日) 10:00~15:00

■生徒による学校説明会

※要予約

9月20日(日) 9:00~

■中学校説明会

※要予約

10月6日(火) 10:00~
10月17日(土)、10月31日(土)、11月28日(土)
各日13:30~

■中学体育デー ※入試相談コーナーあり

11月7日(土) 9:00~

■入試に向けて(6年生とその保護者対象)

※要予約

12月13日(日) 10:00~、13:30~

※詳細・最新情報・ご予約は学校HP

【学校HP】 <https://www.kamagaku.ac.jp/>

本記事は、生徒広報メンバーによって作成されました

〒247・0062 神奈川県鎌倉市山ノ内110
☎0467・22・0994
最寄駅 / JR湘南新宿ライン 横須賀線「北鎌倉駅」徒歩13分。「北鎌倉駅」、
JR湘南新宿ライン 横須賀線・江ノ島線「鎌倉駅」から江電
バス「建長寺」。

山手学院中学校

共学校

部員全員が初心者
週3日の練習で関東大会に出場！
強さの秘訣は「とにかく卓球が大好き！」という気持ち

練習日は週3日
「でも、毎日自主練習しています！」

山手学院中学校卓球部は、この春、「関東中学校選抜卓球大会」に神奈川県代表として出場。県大会を勝ち抜いたメンバーは、2年前まで卓球をやったことがなかった初心者でした。強さの秘訣はどこにあるのでしょうか？ チームを牽引している部長の森田千瑛さんと副部長の久留颯真くん（中2）、そして顧問の山内勝太先生に聞いてみました。



県大会で上位入賞を果たし、関東選抜大会の出場を手にした中学校卓球部のメンバー。



日々の気づきや反省点をノートに記録し、次の試合に活かします。



卓球部の練習日は週3日。決して多くはありませんが、「練習がない日もほぼ毎日、部員が集まり近くのスポーツセンターで自主練習をしています。みんな卓球が大好きなんです！」（久留くん）。

中学生の部員は、現在26名。「学年の垣根がなく、仲間として一緒に練習に励んでいます。顧問の山内先生からよく言われているのは、『応援される人間になる』こと。僕たちは家族や仲間の支えがあつて、大好きな卓球をすることができて、いつも感謝や思いやりの気持ちを忘れな

いようにしています」（森田くん）。

そんな部員たちの姿を見て「日々、成長を感じている」と話す山内先生。強さの秘訣は技術面だけでなく、「好き」という気持ちや、まわりへの「感謝」の姿勢が大きいようです。

部活も勉強も、「自分の当たり前前のレベルを上げたい」

さて、これだけ卓球に夢中になっている2人ですが、学校の勉強のほうはどうなのでしょう？

「部活が忙しいから勉強ができない」ではなく、大好きな卓球が続けられるように、勉強も頑張っています。「卓球を取ったら何もない」なんて言われないように、さまざまなことを頑張る、応援される人になりたいです。目標は文武両道！（森田くん）、「卓球を通じて、頑張れば結果が出るのが分かってから、勉強も頑張るようになりました。これから、海外研修などの学校行事も増えてきますが、忙しさを理由にどれか手を抜くことはしたくありません。部活も、勉強も、学校行事も全力で取り組み、自分の当たり前前のレベルを上げていきたいです」（久留くん）、と頼もしいコメントが返ってきました。

最後に2人から受験生にメッセージです。「山手学院というと、海外研修に力を入

〒247-0013 神奈川県横浜市栄区上郷町460番地
 ☎045-891-2111（代表）
 最寄駅／JR根岸線「港南台駅」徒歩12分。横浜市営バス「横浜女子短期大学前」神奈川中央交通バス「山手学院入口」。



今回インタビューに答えてくれた久留颯真くん（中2）と森田千瑛くん（中2）。そして、顧問の山内勝太先生。

れている学校というイメージが大きいと思いますが、もちろん、それも魅力の一つですが、スポーツ系・文化系ともに部活動も充実していて、みんな全力で頑張っています。入ったら絶対楽しい学校ですよ！」

INFORMATION

■オープンキャンパス

※要予約

6月13日（土） 10:00～13:00

■夏休み学校説明会

※要予約

8月22日（土） 10:00～12:00

■山手祭（文化祭）

10月3日（土）・4日（日）

10:00～15:00

■学校説明会

※要予約

10月10日（土） 10:00～12:00

11月7日（土） 10:00～12:00

11月28日（土） 14:00～16:00

[学校HP]

<https://www.yamate-gakuin.ac.jp>

聖セシリア女子中学校

★女子校

英語ミュージカルに挑むE.S.S部は、部活動を超えた自己探求の場でもあります。仲間と共に成長してきた高2の3名を取材しました。

生徒が主体となって運営
活気あふれる部活動

芸術教育に注力する聖セシリア女子中学校。その柱のひとつが中1・2の必修科目「イングリッシュエクスプレス」です。英語劇を通じて表現力や主体性を育むこの授業で、生徒は英語を「自分を表現する言葉」として使う喜びを体験します。この授業だけでなくさらに本格的な英語ミュージカルに挑むのがE.S.S部です。演目選定から演出、照明や音響まで

生徒主体で作り上げるのが大きな特徴です。

英語劇を通じて見つけた「新しい自分」

部長の長谷川さんは、昨年度の学園祭で上演した『ウィキッド』が印象深いと語ってくれました。高2メンバーで検討を重ね、友情や偏見の克服という深いテーマを自分たちの等身大の物語として表現することを決意しこの作品を採択。それまで部外の友人に依頼していた照明

を自分たちで担当することに挑戦し、主人公が空へ飛ぶシーンで圧倒的な没入感を創出。仲間と一体で舞台を創り上げた経験は大きな達成感につながったといいます。「5月の『グレイテスト・ショーマン』では主役を演じます。夢へひたむきに頑張る姿を通じ、自ら考え行動する背中を後輩に見せたい」と意気込みます。副部長の箱崎さんは、活動を通じて価値観や生き方を考えるようになったと振り返ります。「役作りの際、プロの演出家であり指導にあたる小口先生から『あなたにとってのグラビティ(重力・自分の重荷となるもの)は何?』といった深い問いを受けることがありました。自分の内面と作品を照らし合わせ役を深掘り

することで、価値観を見つめ直すきっかけになりました」(箱崎さん) また舞台上で自分をさらけ出す経験から、馴れ合いではない、互いに課題を指摘し合える真の信頼関係の重要性も学んだといいます。

会計・書記の小野木さんは、小口先生の指導を受けながら本格的な舞台に立てる点に惹かれ入部しました。「昨年度の『ウィキッド』では部として初めて、本格的なオーディションを実施しましたが、全力で役に挑む中で新しい自分を発見しました」(小野木さん) また、役を得られなかった仲間がスタッフとして支える側に回る姿にも部全体を支えようとする意識の高さを感じたといいます。舞台の表裏すべてを創り上げ、本気でぶつかり合い自分を見つめ直してきた生徒たち。ここで培われた表現力と「仲間と歩む力」は、一生の財産となるはずです。

E.S.S部



2025年度の聖セシリア祭で披露した「ウィキッド」。部員全員が一体となって創り上げた舞台



インタビューに応じてくれた、現高3の3名。左から、小野木七海さん、部長の長谷川優衣さん、箱崎花怜さん



表現することや英語が好きな、明るく個性豊かな生徒が集うE.S.S部



5月の発表に向けて、自分たちが「やりたい」と熱望した「グレイテスト・ショーマン」の練習に励む。「部員一人ひとりが主役として輝ける舞台にしたい」(箱崎花怜さん)

記事内のE.S.S公演は5月31日(日)の五月祭で観ることができます。(要予約)

INFORMATION

■中学校説明会

※要予約

5月13日(水)、6月4日(木)
7月4日(土)、9月9日(水)
10月3日(土)、11月11日(水)
12月12日(土)、12月19日(土)
1月13日(水)

■オープンキャンパス

※要予約

6月20日(土)、7月18日(土)

■聖セシリア祭

※要予約

10月24日(土)、25日(日)

*予約、詳細は学校HP

[学校HP]

<https://www.cecilia.ac.jp/>

〒242-0006 神奈川県大和市南林間3・10・1
☎046・274・7405
最寄駅「小田急江ノ島線「南林間駅」徒歩5分。小田急江ノ島線・東急田園都市線「中央林間駅」徒歩10分。

相模女子大学 中学部



全国大会を目指して、仲間とともに自分を磨く
今しかできない、チームでしかできないことが
ここにあります

全国大会常連の強豪バスケット部

全国制覇を目指し、レベルの高い練習に取り組むバスケットボール部。2025年度は8月の関東大会で優勝し、4年連続6回目の全国中学校バスケットボール大会に出場。ベスト8という結果を残しました。また、1月のジュニアウインターカップにも5年連続で出場しています。

キャプテンの細野さんは、強さの秘訣



2023年度、全国大会準優勝の表彰台。部員のコミュニケーションを大切にしながら、常に上位進出を目指して練習に取り組んでいる



長島さん、キャプテンの細野さん、小出さん

「全国制覇という結果目標だけでなく、これらの活動規範を掲げる理由を顧問の田島先生は「チームの目的である『世界で戦える自律したプレイヤーになる』を達成するためには、まず人として成長することが必要。そのために、出来るだけ生徒達自身に考えてもらいたい、主体性を育てていくことを大切にしています」と語ってくれました。

自ら工夫し、仲間とともに努力するからこそ、成長につながっていくのです。

部員の大半が中学入学後にバトンを始めています。コンテストや検定、大会のほか、さまざまな発表の機会があり、常に目標に向かって高いモチベーションで練習に取り組むことができます。また、中学1年生から全員がレギュラーとして大会に出場し、重要なポジションを任せられることもあります。

バトンは華やかなイメージがありますが、本番で華麗な演技をするためには、地道な練習が欠かせません。個人技の向上だけでなく、全員で動きをそろえるユニゾンや、高さ・タイミングを合わせて確実に1スピンを成功させること、正確なフォーメーションを作ることなどは容易ではなく、練習が思うように進まないこともあります。

それでも練習を続けられる理由について、部長の齋藤さんは、努力を重ねる中で技術の向上を実感できること、そして

初心者だって全国大会を目指す
バトントワリング部

クルクルと舞うバトンと、しなやかな体の動きが華やかなバトントワリング部。2025年度はジャパンカップで2位に入賞し、県大会、関東大会を1位で通過して全国大会に出場しました。全国大会では、2年ぶりに金賞を受賞することができました。



2025年度はジャパンカップで2位入賞。関東大会を1位で通過。全国大会では2年ぶりの金賞を受賞したバトントワリング部

仲間の存在を挙げます。「チームメイトと試行錯誤しながら練習を重ねていると、必ずコツがつかめるようになります。新しい技ができるようになると、中学生だけでなく、一緒に練習している高校生の先輩たちも喜んでくれるので、とても励みになります」と語ります。仲間とともに積み重ねてきた努力が演技となり、見る人の心を動かして感動を届けられることが、バトンの魅力です。

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1
☎042-742-1442
最寄駅 / 小田急小田原線 江ノ島線「相模大野駅」徒歩10分。

INFORMATION

■相模女子のキ・ホ・ンがわかる
説明会 プチセツ ※要予約
①5月14日(木)
②6月4日(木)
各日10:00~11:00
(内容は①②とも同じ)

■学校説明会 ※要予約
6月20日(土) 9:30~11:30

※詳細・最新情報・ご予約は学校HP
【学校HP】
<https://www.sagami-wu.ac.jp/chukou/>

国府台女子学院中学部

★女子校

中学1年生から高校2年生まで、部員全員で長い時間をかけてひとつの作品づくりを成し遂げる学院祭の書道パフォーマンスの迫力は圧巻

お互いに意見を出し合い、目標に向かえば自然に団結力が生まれていく

2026年、創立100周年という大きな節目を迎えた国府台女子学院。今回ご紹介する書道部は、中学1年生から高校2年生まで約30名が所属するクラブです。毎年9月に開催される学院祭での書道パフォーマンスと個人作品の制作が活動の中心で、それに向かって全員で切磋琢磨しながら力をあわせています。



縦5m横7mの紙に書き上げる書道パフォーマンス。書く人、紙を押さえる人、紙を立ち上げる人、音楽を流す人など全員の力を結集する

夫求古賢之意宜以大者達者先之
必迂回而難通然後已焉可也今樂
氏之趣成者其未盡乎而多



「部長を1年努めてコミュニケーションも実感しました。今後もしっかりしていきたい」とR・Fさん

「まず春休みは4月に入学する新入生歓迎用のパフォーマンスをするための準備から始まり、5月には新入部員との顔合わせ、6月には学院祭にむけて準備がスタートし、練習を重ねて本番を迎えます。パフォーマンスは全員参加の作品の他に、中学1年生と高校1年生の作品、高校2年生の引退作品と3種類あるので用意も複雑です。また、それに加え、個人の作品制作もあり、自宅で練習しながら学院祭でお披露目できるように頑張っています」と話すのは新しく部長になったばかりの高校1年のK・Tさん。

「書道パフォーマンスは、まず書きたいテーマを決め、どのような言葉を書くのか、書体やレイアウトはどうすればいいのかを何度も話しあって図面作りを進めています」

きます。次に決まった文をどの順番で誰が書くのか、始まりの登場の仕方はどうするのか、テーマに合う曲をどのタイミングで流すのか、ひとつずつ試行錯誤を繰り返してまとめていきます。1つの作品は10人程度で書きますが、音楽が流れているうちに書ききれなかったり、複数の人が紙面上で交錯することもあるので、何度も修正を重ねてようやく本番までたどり着くことができるんです」と前部長のR・Fさんも話します。

そんな生徒たちを支えているのが先生方。「生徒たちの話し合いの場に同席して、パフォーマンス用のお手本を書いたり、紙面上のデザインなどさまざまな相談にのっています。実は練習用の紙も生徒たちが準備していて、集めた新聞紙や式典などで使った模造紙を50〜60枚程度に切ったり貼ったりして用意しています。字を書くチーム、紙を用意するチームとそれぞれが助けあって大きな作品ができ

「強めの字形が好きなんです。部長になりましたが、メリハリをつけて部を引っ張ってきたい」とK・Tさん



夜動霜林驚落葉
曉天類發清機掃櫛已入空
秋風吹散
落葉



「字形や筆使いは各々違いますが、みんな調和を大切にしています。生徒たちとのコミュニケーションが大切です。」と渡邊弓太先生



「最初はおとなしかった生徒もどんどん積極的になって自分の意見がでるようになっていきました」と藤原麦子先生

あがつていくんだと実感します」と書道の藤原麦子先生。さらに「夏の合宿やさまざまな申請などを担当しながら書道部の全体を見守るのが私の役目なんです」と仏教の教員で顧問の渡邊弓太先生もやさしい笑顔で語ります。

学校行事以外にも近隣の小学生を集めて書き初めを教えるボランティアや、年に1度、市川・浦安の10校が集まって市川文化会館で開かれる展覧会に参加するなど活動の場を広げています。

INFORMATION

■学校説明会(全学年対象)

※要予約

5月23日(土)、6月20日(土)
9月19日(土)、12月13日(日)

■入試説明会(小6対象)

※要予約

10月10日(土)、11月7日(土)

■学校見学会(全学年対象)

※要予約

7月23日(木)、8月22日(土)

■学院祭 9月26日(土)、27日(日)

* 予約、詳細は学校HP

[学校HP]

<https://www.konodai-gs.ac.jp/>

〒272-8567 千葉県市川市菅野3・24・1
☎047-322-7770
最寄駅/京成本線「市川真間駅」徒歩5分。JR総武線「市川駅」徒歩12分。

NettyLand SNS 公式アカウント情報発信中!!

もっと知りたい! 私学の魅力! 学校情報サイト

NettyLand

—ネッティランド—



LINE



Instagram

学校の最新情報や動画をSNSから簡単にチェック!

LINE 公式アカウント

@373qjbml

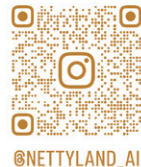
二次元コードかID検索で友だち登録!



Instagram 公式アカウント

@nettyland_ai

二次元コードかID検索で友だち登録!



NETTYLAND_AI

湘南ガールズ・ スクール・フェア

2025年10月4日(土)、湘南地区の私立女子中高一貫校による連盟「湘南ガールズリーグ」は、私立女子校の魅力を伝えるイベント「湘南ガールズ・スクール・フェア」を開催しました。当日のレポートと、参加各校から受験生の皆様へのメッセージを紹介いたします。



湘南ガールズ・スクール・フェア参加校

- 鎌倉女学院中学校高等学校
- 北鎌倉女子学園中学校高等学校
- 湘南白百合学園中学・高等学校
- 聖セシリア女子中学校・高等学校
- 清泉女学院中学高等学校
- 聖和学院中学校・高等学校
- 聖園女学院中学校・高等学校
- 藤嶺学園藤沢中学校・高等学校 (ゲスト男子校)



「湘南ガールズリーグ」の軌跡

湘南地区にある私立女子中高一貫校が、お互いの建学の精神や教育理念を尊重しながら連携し、地域における女子教育の一層の充実・発展を目指して、2011年に「湘南ガールズリーグ」を発足しました。

翌年より毎年イベントを開催。コロナ禍での中断を経て、2025年10月に「湘南ガールズ・スクール・フェア」を開催し、イベント活動を再開しています。

2025年度イベント 「湘南ガールズ・スクール・フェア」

大型ショッピングモール「湘南モールフィル」にて、コロナ後初となるイベントが開催されました。湘南地区の私立女子校の魅力を広く届けようと、さまざまな企画が用意されました。

朝から午後にかけて入れ替わりで披露されたのは、各校によるパフォーマンスです。

トップバッターは聖和学院ダンス部。抜群のチームワークで会場を盛り上げました。続いて北鎌倉女子学園ダンス部が、趣向の異なる複数の演目を披露し、それぞれの魅力を存分に表現しました。

湘南白百合学園の管弦楽部は、ヴァイオリンやチェロが織りなす美しいハーモニーを響かせます。鎌倉女学院マンドリンギター部は、部内で代々受け継がれてきた伝統曲も演奏し、客席では懐かしさに涙ぐむ卒業生の姿も見られました。

聖園女学院ダンス部は、お揃いのTシャツと弾ける笑顔で元気いっぱいのパフォーマンスを披露。また、今年大和市から初参加となった聖セシリア女子は、ギター・マンドリン

部が登場し、黒一色の衣装で迫力ある演奏を届けました。

そして最後を飾ったのは、清泉女学院書道部によるパフォーマンス。凛とした姿勢で、大きな作品をライブで仕上げ、観客の注目を集めました。

会場では、無料体験のワークショップも終日開催されました。北鎌倉女子学園の折形、湘南白百合学園の万華鏡、聖セシリア女子のロザリオ・ブレスレット、清泉女学院の国旗ストラップ、聖和学院のアカアリュウム、聖園女学院のロザリオなど、色とりどりの制作体験が用意され、在校生や先生とともに楽しみながら取り組む姿が見られました。幼稚園児から小学生まで、多くの来場者が各校の教育の一端に触れる機会となりました。

さらに、同じ湘南地区の男子校・藤嶺学園藤沢のマスケットキャラクター「トーレくん」も応援に駆けつけ、子どもたちに大人気。会場を和やかな雰囲気でも包みました。

このほか、各校の制服展示にも多くの来場者が足を止め、「着てみたい!」といった声も聞かれました。2026年度も、より充実した企画を通して、湘南エリアの女子教育の魅力を発信していきます。

鎌倉女学院
「マンドリンギター部による演奏」



北鎌倉女子学園
「折形作りワークショップ」



湘南白百合学園
「管弦楽部による演奏」



聖セシリア女子
「ギター・マンドリン部による演奏」



清泉女学院
「書道部によるパフォーマンス」



聖和学院
「アクアリウム作りワークショップ」



聖園女学院
「ロザリオ作りワークショップ」



応援に駆けつけてくれた
藤嶺学園藤沢「トーレくん」



ブレザー・セラー服など
7校の制服が大集合



参加校メッセージ

校訓 校章

真摯沈着

尚綱



白菊をモチーフにしている。

「しっかりした自己とモチベーションで、責任感のある女性であれ」という意味だよ。



ちみろ 566

部活



バドミントン バスケットボール



オーケストラ

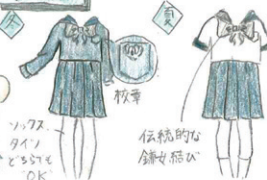


バドミントン



ギター、ドラム、美術など

制服



ソフト、タイム、どらびん、OK

伝統的な鎌倉結び

魅力

- ・特修(茶道、華道、書道、フルート、ギター)がある。
- ・歴史ある環境を活かした『鎌倉学』がある。



ゆいちゃん

学校は鎌倉駅から徒歩7分とアクセスが非常に良く、豊かな自然と多くの文化遺産に囲まれた素晴らしい教育環境で生徒は学んでいます。「真摯沈着(しんしちんちゃく)」と「尚綱(しょうけい)」を校訓に、何事も積極的に取り組む知的で洗練された女性を育成します。放課後には部活動や特修(茶道、華道、書道、バイオリン、フルート)など、幅広い活動をしています。5月に授業見学会、6月にキャンパス体験、8月にクラブ見学会(ともに要予約)を実施しております。詳細はHPをご覧ください。

鎌倉女学院中学校高等学校

〒248-0014 神奈川県鎌倉市由比ガ浜2-10-4

<https://www.kamajo.ac.jp>

0467-25-2100



北鎌倉女子学園中学校高等学校

〒247-0062 神奈川県鎌倉市山ノ内913

<https://www.kitakama.ac.jp/>

0467-22-6900

北鎌倉の丘の上、緑豊かな環境で学ぶ女子校です。「のびやかな自立した女性を育む」という教育理念のもと、生徒一人ひとりの個性や可能性を大切にしたい教育を行っています。英語教育では、英語で表現する力を育て、ディスカッションやプレゼンテーションを通して実践的な英語力を高めています。中3からは国際コース、高校からは特進コースを設置し、学びをさらに深めています。また古都鎌倉の立地を活かし、円覚寺での英語ガイドボランティアなど実践的な活動も行っています。音楽コース・音楽科では専門的な指導のもと音楽の力を伸ばし、多彩な進路につなげています。DXハイスクール採択校としてICTを活用した新しい学びも進んでいます。



湘南ガールズリーグ 2025 年度イベント
「湘南ガールズ・スクール・フェア」の参加校をご紹介します。



湘南白百合学園中学・高等学校

〒251-0034 神奈川県藤沢市片瀬白山4-1

<https://chukou.shonan-shirayuri.ac.jp> 0466-27-6211

藤沢市の高台に位置し、江ノ島や富士山を望む本校は、緑豊かな環境でのびのびと学べるカトリックの女子校です。生徒が設計に関わったカフェ「リリースペース」や開放的な図書館など、充実した新施設が自慢です。

高大連携を活かした探究学習や高1での全員海外研修、海外大学推薦制度(UCAA)など、世界を見据えた教育を展開。メンターが支える自習室も完備し、一人ひとりの進路を細やかにサポートします。こうした本校の活気ある雰囲気や豊かな自然環境を肌で感じていただけるよう、6月6日(土)には部活体験イベントを実施します。ぜひこの機会に、生徒たちの生き生きとした姿を直接ご覧ください。ご予約・詳細はホームページへどうぞ!



St. Cecilia



聖セシリア女子中学校・高等学校

〒242-0006 神奈川県大和市南林間3-10-1

<https://www.cecilia.ac.jp/> 046-274-7405

聖セシリアは家庭的で温かな校風の学校で、生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出すことを大事にしています。授業以外にも、補習・講習・土曜講座など多くの学習プログラムを設け、個々の学力や進路に応じてきめ細やかにサポート。多くの生徒が塾に通わず希望進路を獲得しています。また、行事や部活動も活発で、自分の“好き”を見つけ、のびのびと過ごせる環境があります。小田急江ノ島線「南林間駅」からは徒歩5分、東急田園都市線「中央林間駅」からは10分と駅からのアクセスが良く、閑静な住宅街に立地しています。5月には体育祭、6・7月にはオープンキャンパスもあります。学校見学は毎日開催中! ぜひ一度、本校へ遊びにいらしてください。詳細はHPをご覧ください。



清泉女学院中学高等学校

〒247-0074 神奈川県鎌倉市城廻200

<https://www.seisen-h.ed.jp/>

0467-46-3171

■学校の魅力①

戦国時代の城跡に建つ自然豊かな校舎

大船駅から路線バスで5分ほど。北条氏が建てた「玉縄城」の跡地にあります！

■学校の魅力②

スペインのおおらかな雰囲気と自由・自律を尊重する学び舎

カトリック校の中でも自由度が高いと言われる清泉。基本的な校則はありますが、髪形やカバン、傘などは自由です。何が「学生にふさわしい」かを自分で考えていくのが清泉生のライフスタイル！

☆ TOPICS ☆

全国レベルの実力を持つ音楽部。3月に、声楽アンサンブルコンテスト全国大会本選一位(文部科学大臣賞)を獲得！6月に遠征するポーランドの国際大会は、全世界の国際大会のチャンピオンたちが集ういわば合唱の世界選手権！どんな歌声を届けられるか♫応援よろしく👍



聖和学院中学校・高等学校

〒249-0001 神奈川県逗子市久木2-2-1

<https://www.seiwagakuin.ed.jp/>

046-871-2670

聖和学院中学校は、これからの社会で求められる力を育む教育を推進しています。特に英語教育とデータサイエンス教育に力を入れ、実践的な学びを通して思考力・表現力を高めています。さらに、地域の方々や企業、大学とのコラボレーションを積極的にカリキュラムに取り入れ、多様な価値観に触れながら探究的に学ぶ機会を充実させています。生徒一人ひとりが自ら考え、未来を切り拓く力を育てる学校です。

今回のワークショップでは「アクアリウム作り」を実施しました。小瓶にビーズや花などの素材を自由に詰め、水を加えてオリジナルのボトルを制作します。色や配置を工夫しながら自分だけの作品を作り上げる過程がとても楽しく、参加者の皆さまからも「夢中になれる」「きれいで嬉しい」といった声をいただき、大変好評でした。創造する喜びを感じていただける体験となりました。



聖園女学院中学校・高等学校

 〒251-0873 神奈川県藤沢市みその台1-4

 <https://www.misono.jp>

 0466-81-3333

聖園女学院は藤沢市にあるアットホームな雰囲気のカトリック女子校です。本校の教育活動の目標は「Find your Mission(見つけなさい、あなたの使命を)」。一人ひとりが自らの使命を見つけ、他者と認め合い磨き合いながら成長することを目指しています。南山大学をはじめとする各大学との教育連携、カナダ研修やニュージーランド留学、毎日開かれている校内留学「Misono English Academy」、ダブルディプロマシステムなど、国境を越えて他者に貢献する国際人を目指す取り組みが盛りだくさん！放課後には授業の補いや女子大学生の学習メンターによる自習支援、外部講師による受験支援が校内で行われ、生徒の理解度に合わせた学びを手厚くサポートしています。


特別ゲスト



藤嶺学園藤沢中学校・高等学校

 〒251-0001 神奈川県藤沢市西富1-7-1

 <https://www.tohrei-fujisawa.ed.jp/>

 0466-23-3150

藤嶺藤沢では茶道と剣道が必修になっており、5年間しっかりと学びます。日本文化の集大成と言われる茶道の授業では、お茶の点て方・飲み方の作法はもちろんのこと、お花や掛け軸といった場所を作り上げる細かな配慮も大切です。中学3年生の3学期には保護者の方をお招きし、自分で点てたお茶でおもてなしをして、15年間の感謝の気持ちを伝える卒業茶会を催します。剣道の授業では緊張感のある空間で礼儀を学び、精神だけでなく身体のトレーニングもします。心技体全てが足りてこそ剣道ですので、生徒たちも集中して取り組むことができます。日本の伝統文化を身をもって体験し、深く学ぶことで、日本人のアイデンティティを持った国際人になることを目標に日々精進しています。

今すぐはじめる中学受験の情報収集
エスチェック

SCheck

学校選びから説明会情報まで、すべてこのアプリで

こんなお悩みありませんか？

各学校の
サイトを見て
回るのが大変

説明会の
日程を
見逃してしまう

どの学校が
通学圏内か
わからない

情報が
多すぎて
整理できない

SCheckなら全て解決!

情報収集の 時短

複数の学校情報を一括で
効率的に収集・管理でき
ます。

イベント情報の 見逃し防止

イベント情報をリアルタイムで
プッシュ通知でお届け
します。

通学圏内の 学校を可視化

マップ機能で目的地まで
の距離や位置を簡単に把握
できます。

情報の 整理が簡単

ブックマーク機能で気になる
学校をまとめて管理でき
ます。

お子様の学校選びを
強力にサポート!

便利なSCheckの機能

学校情報・イベント情報を
タイムリーにお届け



中学校の説明会・文化祭など
イベント情報を一覧形式で表示



気になる記事を
ブックマーク



気になる学校を
絞り込み検索



現在地周辺の
中学校をマップ表示



学校のイベント情報を
プッシュ通知でお知らせ



運営会社

私学妙案研究所

〒224-0003 神奈川県横浜市都筑区中川中央1-26-10

<https://s-goodidea.jp/>



App Storeから

無料ダウンロード!

会員登録不要ですぐに使える

※対応OS：iOS18.2以上(2026年3月現在)



進学レーダー

中学受験

志望校選択の視野を広げる

紙版 定価：1,430円(税込)

電子版 価格：1,200円(税込)

中学受験情報誌・進学レーダーは時期にあった特集テーマについて、先輩親子の体験談や私学の先生インタビュー、日能研からの学習アドバイスなどリアルな声を毎月掲載。「学習」「生活」「学校選び」のほか、「私学の教育内容や学校生活」など、志望校合格への情報を多面的に、タイムリーにお届け。中学受験の不安や悩みを解消します。

発売中

2026年3&4月号

はじめよう中学受験

/図書館大特集

4/15
発売

2026年5月号

まず見ておきたい厳選私学

/私学のお金

5/15
発売

2026年6&7月号

研究！大学付属校/新校舎と新設備&新制服

大学付属校ってどんな学校？ 付属校の中身を大紹介！

7/1
発売

2026年8月号

とことん算数/夏の過ごし方

8/15
発売

2026年9月号

過去問大解剖/海外研修一覧

9/15
発売

2026年10月号

併願2027/横浜・川崎私学

10/15
発売

2026年11月号

受験親子のメンタルケア/入試の採点基準

11/15
発売

2026年12月号

ベストが尽くせる学習法/察のある私学

12/15
発売

2027年1&2月号

これで仕上げの最終チェック/各校の入試当日の対応

11/1
発売

入試直前特別号

紙版 定価：1,540円(税込)

電子版 価格：1,200円(税込)

※特集のタイトル・内容は、編集の都合上、変更になる場合があります。



進学レーダーのご購入方法

単品

- ①書店 近隣の書店でお買い求めいただけます
- ②みくに出版WebShop (5,500円以上(税込)のお買い上げで送料無料)
- ③Web書店 (Amazon、楽天ブックス ほか)
- ④電子版 (Fujisan.co.jp ほか)



定期購読

毎号発売日にご自宅へ配送いたします。

送料サービス！

- ①みくに出版WebShop
- ②Fujisan.co.jp



みくに出版

TEL. 03-3770-6930

www.mikuni-webshop.com/

みくに出版

検索



共学校

立正大学付属立正中学校

在校生が
紹介する

★★★★★

私たちの クラブ

仲間とともに学校生活を存分に楽しむ 生徒たちが紹介するクラブ活動！

明るく開放的な校舎と充実した運動施設が魅力の立正大学付属立正中学校。
今回は3つの運動系クラブ所属の生徒さんに取材しました！

講堂を兼ねた行学ホールで活動「体操部」

活動日は週4日です。私はもともと体操をやっていて、体操部がある立正を志望しました。経験や学年に関係なくお互いにアドバイスしあう部活なので未経験者も上達できます。次の大会では得意な床で上位を狙いたいです！

受験生へメッセージ

立正は先生との距離も近くてあたたかく心地いい学校です。ぜひ見学に来てください！



中2立澤さん

冷暖房完備のアリーナで活動「女子バスケットボール部」

「公式戦で1勝」を目標に日々練習に励んでいます。部員はミニバス経験者もいれば、優しい先輩にあこがれて中学から始める子など様々です。中学は部員数が少ないため、新入生にたくさん入部してもらい、ゲーム形式の練習をより多く取り入れ、上を目指していきたいです！

受験生へメッセージ

受験勉強はつらいこともあると思いますが、疲れたら好きなことをしてリフレッシュしながら頑張ってください！



中3板橋さん

中3グエンさん

グラウンドの専用レーンで活動「陸上競技部」

短距離(跳躍含む)・中長距離・投てきの3ブロックに分かれて練習をしています。部員はライバルでもあり大切な仲間でもあるので、みんなで声をかけ合ってともに頑張る雰囲気があります。都大会や関東大会を目指しています。

受験生へメッセージ

立正の魅力は校舎がきれいで快適に過ごせることです。また、体育祭や文化祭などの行事を通じて、色々な人と仲良くなれる点も魅力です！



高2宋さん

高2菊池さん

中2本郷さん

